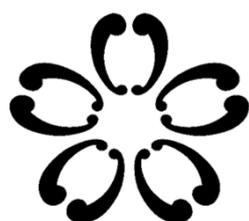


佐倉の教育

令和4年度



佐倉市教育委員会

佐倉市教育の日 11月16日

今後の佐倉市が多くの人材を育てる「まち」として着実な歩み続け、一層の充実が図られ、確かな人づくりを進めることを目的として、「佐倉市教育の日」を制定しています。

期日の由来は：佐倉藩主堀田正睦公が天保4年(1833)11月16日、藩政改革を宣言した日にあたり、これが佐倉藩の学問興隆の契機になった日です。

(平成17年3月24日制定)

佐倉市民憲章

わたくしたちは、印旛沼湖畔のきれいな空気と、緑と太陽と歴史に恵まれた佐倉市民です。全市民は力を合わせて、この憲章を守り、理想のまちをつくりましょう。

1. 私たちは、美しく清潔なまちをつくりましょう。
1. 私たちは、公衆道徳を守り、スポーツを愛し、明るいまちをつくりましょう。
1. 私たちは、歴史や自然を大切にし、おくゆかしまちをつくりましょう。
1. 私たちは、老人を敬い、子どもを愛し、あたたかいまちをつくりましょう。
1. 私たちは、創意と努力をもって、豊かなまちをつくりましょう。

(昭和45年12月23日制定)

平和都市宣言

～非核三原則を守り核兵器廃絶をめざして～

豊かな自然に恵まれた歴史と文化のまち佐倉。この良好な環境のなかで、やすらぎに満ち、健康で平和な生活を維持することが佐倉市民共通の願いです。

佐倉市民は、悲惨な紛争や戦争のない世界を強く願い、軍縮の推進はもとより、特に、人類および地球の破滅につながる核について非核三原則を守り、核兵器の全面禁止と廃絶をめざして、最大の努力をしなければなりません。

戦後50年目の年にあたり、佐倉市民は、戦争の犠牲者に追悼の誠を捧げ、国際社会の一員として、国際協調の視点をふまえ、世界の恒久平和を実現するために「平和都市」を宣言します。

平成7年8月15日

佐倉市

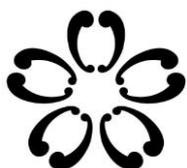
人権尊重・人権擁護都市宣言

わたしたちは、個性を認めあい、協調性のあるまちづくりをすすめています。みんなの顔がきらめいて、希望にあふれる都市をつくりたいと願っています。それは、一人ひとりが大切にされ、人間らしく生きることができるまちにすることです。そのために、わたしたちは基本的人権を正しく理解して、人権感覚の向上に努めなければなりません。わたしたちは、差別や偏見をなくすために、人権尊重の教育や啓発活動に積極的に取り組みます。そして、わたしたち一人ひとりが、人権擁護のまちづくりの主人公となるため、ここに佐倉市を「人権尊重・人権擁護都市」とすることを宣言します。

平成9年2月24日

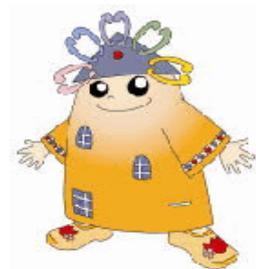
佐倉市

市章



この市章は、佐倉藩主堀田氏の紋章の一つであって、出陣に際して使用したものです。図案は、陣馬の「クツワ」につける鑲を組み合わせ、これを桜花となし、これを鑲桜といいます。鑲は陣馬操縦にあたり馬口を引き締める大切な道具です。市章は市民がこん然一体となり、心を引き締めて市の建設発展にまい進する強い意思を表し、桜は佐倉に通じて平和でうらかな市民の心意気を示しているものです。

(昭和30年4月1日制定)



佐倉市市民憲章
マスコットキャラクター
みらいくん

表紙写真

左上: ヤギのポニョ

左下: 佐倉の秋祭りの様子

右上: オランダ風車『リーフデ』とひまわり

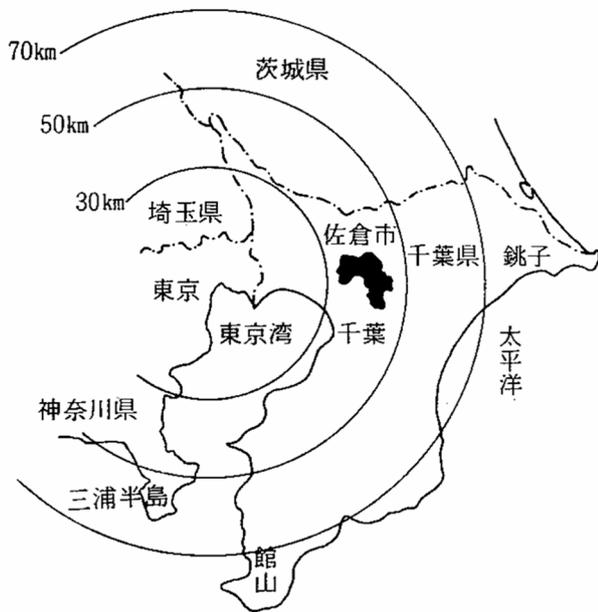
右下: サムライの古径(こみち) ひよどり坂

—目次—

I 佐倉市の概要	1
II 佐倉市教育委員会教育長及び教育委員	3
III 令和4年度教育目標	4
1 教育ビジョンに基づく施策の内容	9
2 教育センター事業	25
3 公民館事業	26
4 図書館事業	32
5 市民音楽ホール事業	34
6 美術館事業	36
7 佐倉学	37
8 コミュニティ事業	41
IV 学校紹介	42
〔資料編〕	
I 教育行財政	
1 歴代教育長及び教育委員	55
2 令和3年度教育委員会会議	56
3 令和3年度教育功労者等	57
4 教育委員会機構	58
5 職員数	59
6 教育費予算・決算	60
II 教育関係施設	
1 佐倉市立の教育施設マップ	64
2 学校一覧	
(1) 市内幼稚園・認定こども園	65
(2) 市立小・中学校	66
(3) 県立高等学校	67
(4) 短期大学	67
3 学校施設一覧	
(1) 教室等施設	68
(2) 建物・校地面積	69
4 社会教育等施設一覧	71
5 社会体育施設一覧	72
III その他	
1 児童生徒数の推移	73
2 スポーツテスト実施状況	74
3 スポーツ施設利用状況の推移	75
4 指定・登録文化財一覧	76
5 市民文化資産一覧	78
6 日本遺産	78
7 「北総四都市江戸紀行」日本遺産認定について	79

I 佐倉市の概要

I-1 位置及び地形



(1) 位置

本市は、千葉県北部、下総台地の中央部に位置し、都心から東へ約40km、県庁所在地の千葉市から北東へ約20km、成田国際空港から西へ約15kmの所に位置します。

東西・南北は各15.9kmで、東部は酒々井町、東南部は八街市、南西部は千葉市と四街道市、西部は八千代市に接し、北部は印旛沼を隔てて印西市に相對しています。

面積は103.69km²です。

(2) 地形

佐倉市の市域は、印旛沼の南に広がる台地、傾斜地からなっており、その間を鹿島川や高崎川、小竹川などが流れ、印旛沼に注いでいます。標高30m前後の台地は北から南へ向かうほど高くなります。

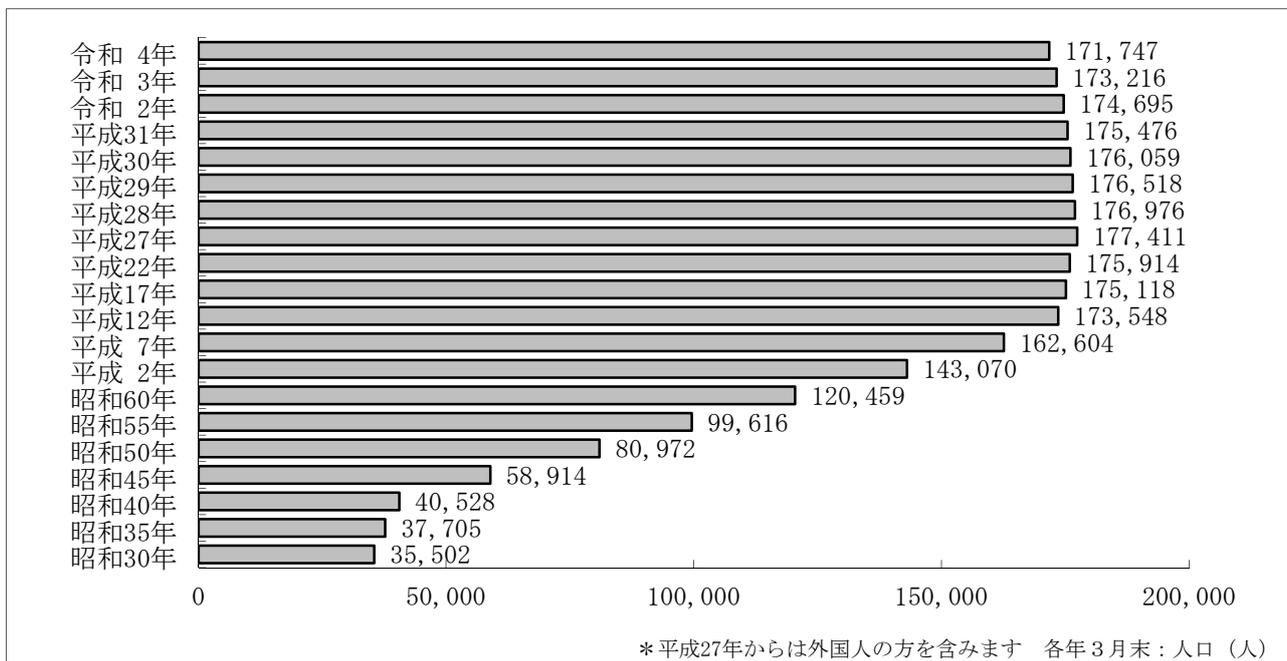
市役所の位置

東経 140° 13' 26"

北緯 35° 43' 26"

方位	東 経	北 緯
極 東	140° 18'	35° 41'
極 西	140° 07'	35° 42'
極 南	140° 15'	35° 37'
極 北	140° 12'	35° 45'

I-2 人口の推移



I-3 沿革

原始・古代

印旛沼と沼に注ぐ河川がもたらす水利のよさや比較的温暖な気候に恵まれた佐倉市域には、原始・古代から人々の営みがあり、その痕跡が残っています。

旧石器時代の生活は、星谷津遺跡等の調査結果からうかがわれ、縄文時代になると遺跡数は次第に増加します。上座貝塚からは海の貝が出土し、内海が迫っていたことがわかり、吉見台遺跡では縄文時代後晩期の大規模集落、井野長割遺跡では環状盛土遺構が発見されました。

弥生時代では江原台遺跡や六崎大崎台遺跡が著名で、印旛沼を中心とする地域色の濃い文化の存在がうかがわれます。

古墳時代以降は次第に地方色は薄れ、全国的に文化の画一化が進むようになり、高岡遺跡群では、中央政権の影響が波及した様子がうかがわれます。

中世

佐倉市域には平安時代末まで、印東荘・白井荘等の荘園があり、上総介一族が勢力を持っていました。

鎌倉幕府成立以降は、現在の千葉市を本拠地とする千葉氏が進出し勢力を伸ばしました。戦国時代の動乱の中、千葉氏は本佐倉城(佐倉市・酒々井町)を築き、新たな本拠地としました。

戦国時代の終わり頃には、千葉一族の鹿島幹胤が現在の佐倉城址公園の地に鹿島城の築城を始めましたが、途中で中断してしまいました。さらに、天正18年(1590)の小田原北条氏の滅亡とともに千葉氏も滅亡すると、徳川家康の家臣や一門が佐倉を治めるようになり新たな時代を迎えることとなりました。

近世

慶長15年(1610)に土井利勝が佐倉に封ぜられると、翌年から鹿島城の跡に新たに佐倉城を築き、城下町の整備を始めました。以後、佐倉は江戸を守る重要な地として、代々幕府の要職を務める有力な譜代大名が治めました。佐倉は、佐倉道(成田街道)の要衝でもあったため、宿場町の臼井とともに江戸への物資の輸送や、成田山参詣の往来でにぎわいました。

歴代城主の中でも堀田氏は、寛永19年(1642)～万治3年(1660)までと、延享3年(1746)～明治2年(1869)の版籍奉還までと最も長く佐倉を治めました。幕末期の城主堀田正睦は早くから西洋の学問に注目し、藩校では医学や兵学の研究も盛んに行われました。正睦は、老中として日米修好通商条約の締結に向け尽力しました。

近代・現代

明治4年(1871)の廃藩置県で佐倉藩は佐倉県となり、後に印旛県に再編されました。明治6年6月15日に印旛県と木更津県が統合され千葉県が誕生、佐倉に郡役所が開設されるなど、地方行政の中心となりました。また、佐倉城跡に歩兵連隊が置かれ、第二次世界大戦終結まで、「連隊の町」として栄えました。

戦後復興期の昭和29年3月31日、佐倉町・臼井町・志津村・根郷村・弥富村・和田村の六町村が合併し、佐倉市が誕生しました。その後、旭村・四街道町の一部を編入し、現在に至ります。

昭和40年代以後、住宅団地の造成により人口が急増し、小中学校の建設も進みました。昭和55年4月には、県内で12番目の人口10万人の市となりました。(現在の人口:約17万2,000人)

その一方、豊かな自然環境や城下町としての歴史を背景に、昭和58年、国立歴史民俗博物館が開館します。昭和62年には、蘭学が栄えた歴史を縁に佐倉日蘭協会が設立され、日蘭児童交流など、オランダを身近に感じる事業を通じて特色ある国際交流を進めています。

学校建設が進む中で、図書館・公民館のほか、佐倉市民音楽ホール(昭和59年)、市立美術館(平成6年)、佐倉順天堂記念館(昭和60年)、佐倉武家屋敷(平成2年)、旧堀田邸(平成11年)を整備・開館し、地域の歴史、文化を広く全国に発信しております。

また、平成7年には「佐倉市平和行政の基本に関する条例」を県内で初めて制定し、平和都市として恒久平和の実現を目指しています。

佐倉市には、自然・歴史・文化に加え、郷土の優れた先覚者がいます。これらを学び、将来に生かすため、平成15年度からは「佐倉学」の取組を開始し、佐倉市の特色ある教育を進めています。

平成22年(2010)は、土井利勝が佐倉の領主となった慶長15年(1610)から400年目にあたり、佐倉市ではこの節目を記念して、平成29年度までの間、「佐倉・城下町400年記念事業」を行い、市の歴史・文化や魅力を全国に発信しました。

平成24年度には、佐倉とゆかりのある女子美術大学及び順天堂大学、平成25年度に東邦大学、平成26年度に千葉敬愛短期大学、東京情報大学及び敬愛大学、平成27年度に国立歴史民俗博物館、平成28年度に日本大学生産工学部、平成29年度に津田塾大学と連携協定を結び、教育や文化など多方面に、活気あふれる新たなまちづくりに取り組んでいます。

平成28年4月には「北総四都市江戸紀行」の「城下町佐倉」として「日本遺産」に認定されました。

Ⅱ 佐倉市教育委員会教育長及び教育委員

(令和4年 6月 1日現在)



圓城寺 一雄
(教育長)



関山 邦宏
(教育長職務代理者)



菅谷 義範
(委員)



熊倉 夏子
(委員)



小菅 広計
(委員)

役職名	氏名	任期	就任日
教育長	えんじょうじ かずお 圓城寺 一雄	令和4年4月1日～令和4年10月1日	令和4年 4月 1日
教育長 職務代理者	せきやま くにひろ 関山 邦宏	平成30年10月2日～令和4年10月1日	平成 5年 6月 8日
委員	すげのや よしのり 菅谷 義範	令和3年10月6日～令和7年10月5日	平成21年10月 6日
委員	くまくら なつこ 熊倉 夏子	令和2年10月1日～令和6年9月30日	平成28年10月 1日
委員	こすげ ひろかず 小菅 広計	令和元年10月1日～令和5年9月30日	平成29年 6月30日

Ⅲ 令和4年度 教育目標

〔基本理念〕（第3次佐倉教育ビジョンより）

わたしが輝き、地域が輝き、未来が輝く、“佐倉のひとづくり”

〔めざすべき佐倉市民像〕（第3次佐倉教育ビジョンより）

- (1) 思いやりのある豊かな心を持ち、自然や文化を大切にする人
- (2) よく学び、自ら考え、進んで行動する人
- (3) 佐倉への愛着と国際的な視野を持って社会に関わる人

〔基本方針〕（第3次佐倉教育ビジョンより）

- 〔1〕子どもの「輝く」力の向上をめざす【学校教育】
- 〔2〕子どもが「輝く」ための教育環境の整備・充実をめざす【教育環境】
- 〔3〕市民や地域の「輝く」力の向上をめざす【生涯学習】
- 〔4〕佐倉の「輝く」力の向上をめざす【文化・芸術】

〔令和3年度施策の主な成果〕

令和3年度は、『第3次佐倉教育ビジョン前期推進計画（令和2年度～令和5年度）』の2年目として、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ令和5年度末の達成目標に向けて佐倉の教育の充実に努めました。

施策の主な成果について、『第3次佐倉教育ビジョン前期推進計画』の重点事業から特色のあるもの、新たに取り組んだ事項など主なものを以下に表記します。

なお、施策事業の実績・成果及び評価については、「教育委員会の事務執行にかかる点検評価報告書」を作成し公表いたします。

- (1) 確かな学力の向上のため、佐倉市独自の学習状況調査を実施し、教育センター報告会、教育センターだよりで調査結果の周知・啓発を行いました。また、過去3年間の経年変化データや調査分析結果を全小中学校へ提供し活用することで、指導方法の改善に取り組みました。
- (2) 児童生徒一人につき一台のタブレット端末の導入により、授業では視覚に訴えた教材の提示が可能になり、児童生徒の理解が深まりました。また、発表や話し合い活動では、端末を使って効果的な説明や発表を行うことができるようになり、思考力・表現力の伸長につながりました。休校時や欠席している児童生徒に対して授業を配信することにより、希望するすべての児童生徒が等しく授業を受けることができるようになりました。
- (3) 佐倉学道徳教材検討委員会を開催し、検討委員が授業実践をもとに佐倉学道徳副読本の内容について検討を行うなど、より良い教材となるよう、副読本の改訂作業を進めました。
- (4) 「佐倉学」の推進における取組として、各小学校6学年児童に改定版佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」を配付するとともに、次年度に向けて佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」の改訂・配付準備を進めました。また、研究モデル校である南部中学校において「佐倉学を通じた教科横断的な学習の工夫」についての研修を進めました。令和3年度「佐倉学検定」を実施し、小中学生約1,300名が受

検しました。

- (5) 新体力テストにおいて体力優良の児童に体力優良証を交付するなど、体力向上の推進を図りました。また、児童生徒が参加する小中学校体育連盟主催・教育委員会共催の各種競技大会への参加費用の一部を補助しました。
- (6) 学校給食について、新型コロナウイルス感染予防のため、衛生面に配慮した給食を実施するとともに、全小中学校で「城下町佐倉・江戸ぐるめ献立」、「クララホイットニー献立」、「佐倉うまいもの自慢献立」など特色ある給食を実施しました。また、食に関する指導の全体計画の作成が完了しました。
- (7) 学校の教育環境の向上を図るため、令和2年度から計画的に進めている老朽化したトイレの改修工事について、令和3年度は根郷小学校、佐倉東小学校、和田小学校、印南小学校、南志津小学校、寺崎小学校、間野台小学校において実施しました。
- (8) 衛生的で機能的な給食施設・設備を維持するため、耐用年数を超えた給食備品等の購入や給食施設等の修繕等を行いました。
- (9) 少人数によるきめ細やかな指導を行うため、小規模特認校である弥富小学校及び和田小学校に学校支援補助教員を1名ずつ配置しました。また、児童数増加に向けての取組として、ポスターの作製・配付・掲示、小規模特認校公開授業等を実施しました。
- (10) 教育支援委員会を開催し、適正な就学及び、必要な支援について、調査審議を行いました。また、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する幼稚園・小中学校に特別支援教育支援員を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習及び学校（園）生活における支援の充実に努めました。
- (11) アイアイプロジェクト活動を推進し、地域の方々と連携して児童生徒の登下校時の安全確保に努めるとともに、学校と地域の交流を図りました。また、警備業者委託による登下校時の巡回パトロールや教育委員会事務局職員による青色回転灯装備車を用いた巡回パトロールを実施し、さらに、警察、県及び市道路管理者、学校関係者、教育委員会で通学路合同点検を実施しました。合同点検の結果、小学校通学路の要注意箇所78箇所の具体的な対策案をまとめ、ホームページで公開し、児童生徒の登下校時の安全確保に努めました。
- (12) 学校運営委員会や下部組織である環境整備委員会、学校安全部会、学校開放部会の開催など、保護者や地域住民が学校運営に参画し、地域と学校が共通の目的を持ち、一体となって、よりよい教育の実現に向けて取り組むことができました。
- (13) 生徒指導担当者会議における研修、いじめの月例調査の実施、学校支援アドバイザーの派遣等により、教職員のいじめ問題に対する意識が変わり、迅速かつ組織的に対応することができました。また、いじめ事案に対しては、指導主事と学校が緊密に連携を取り、迅速ないじめの解消につながりました。
- (14) 児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、面接・電話・訪問相談を行い、学校との連携を図りながら指導・支援を行いました。さらに学校教育相談員による適応指導教室の運営を通して、不登校傾向の児童生徒の居場所を確保し、学校と連携して学校復帰に向けた指導・支援を行いました。また、心の教育相談員を小学校に配置するとともに、スクールカウンセラーや各関係機関等と連携し、児童生徒や保護者、教職員の相談に対応しました。

- (15) 市民の教育への興味や参加意識の向上を図るため、11月16日の「佐倉市教育の日」や関連行事について、ホームページ、広報紙、チラシ、フェイスブック、ツイッター、ブログ等で周知を行うとともに、佐倉の特色を生かした事業を実施しました。
- (16) 地域で活動する人材の育成を図るため市民カレッジを開講しました。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授業は午前又は午後のみとし、コロナ禍を考慮して、自宅でも学習できるよう、授業の様子を録画した動画を佐倉市民カレッジのホームページにて、生徒向けに期間限定で公開しました。また、文化祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研究発表及び作品展示を動画配信しました。
- (17) 2年制のコミュニティカレッジさくらを開講し、例年、1日で行っていた講義を、午前又は午後の半日とするなど新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、居住する地域に目を向け、地域課題に対して関心を高め、地域課題解決の手立てを学ぶ講座を開催しました。
- (18) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学童期子育て学習講演会の学校開催を中止し、古嶋美文氏による講演会を事前収録してYouTubeにて配信を行いました。また、子育て理解講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講師の学校への訪問は中止しましたが、助産師と経産婦による講座のDVDを作成し、各中学校へ貸し出しを行うなど、家庭教育の推進を図りました。
- (19) 多くの方々に親しまれるよう、(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設の愛称を募集し、最終候補3点について市内小中学校の児童生徒が一人につき一票の投票を行い、「夢咲くら館」と決めました。整備については、施設建設工事を引き続き進めるとともに、展示物製作用の撮影や造作備品の発注など、令和5年3月の開館に向けた準備を行いました。
- (20) 図書館にて平和に関する展示を8月に行いました。
- (21) 読書に親しむ機会を充実させるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで、人形劇おはなしきゃらばん、0, 1才、2, 3才向けおはなし会や市立保育園への訪問おはなし会、大人のためのお話会、クリスマスフェスタ2021等を開催しました。また、新たな読書普及事業として「みんなで作るおススメの本コーナー」と題して、POP(本の紹介カード)について市民や児童生徒に向けて周知及び募集を行い、図書館内における掲示及びホームページへの掲載を行いました。
- (22) 国指定史跡である井野長割遺跡の適切な維持管理を行うとともに、学校や公民館等への講師派遣や普及活動を実施しました。
- (23) 武家屋敷、旧堀田邸、佐倉順天堂記念館について、市内外の小学校等の校外学習の積極的な誘致を行いました。また、佐倉順天堂記念館の展示替えを行うとともに、武家屋敷と旧堀田邸のVR映像を公開しました。
- (24) 文化情報誌『風媒花』第34号を発行し、芸術文化の普及促進に努めました。
- (25) 市立美術館で企画展「作陶50年記念 上瀧勝治展 ― 磁器に咲く花」、「フランソワ・ポンポン展 ― 動物を愛した彫刻家」を、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで開催しました。

(26) 市立美術館のミテ・ハナソウ・プロジェクトとして新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインで対話型鑑賞「ミテ・ハナソウ・カイ」を行い、事業の継続を計りながら、美術の普及に努めました。また、学校との連携として、グループを細分化したうえで、部屋を分けて授業を行うなど、きめ細やかな感染症対策を講じたプログラムを開発し、対面による出前授業や学校来館受け入れなどを行いました。その他、アーティストと共同で鑑賞プログラムの開発を行いました。

〔令和4年度施策の特徴及び重点項目〕

施策の主な特徴として、「①ICTを活用した学習活動の実施など、より充実した学校教育の推進」、「②登下校時における児童生徒の安全により配慮した見守り活動や学校施設の改修など、安全・安心・良好な学習環境の整備」、「③公民館・図書館等における生涯学習の振興」、「④夢咲くら館の開館に向けた準備など生涯学習環境の整備」、「⑤歴史文化資産や佐倉の魅力を生かした文化振興」の5点が挙げられます。

この5点を含め、『第3次佐倉教育ビジョン前期推進計画』及び以下の重点項目に基づき、各事業の進捗状況を把握し、着実かつ効果的に成果を上げられるよう、各施策を推進します。

(1) 学力向上・学習内容の充実に取り組みます

- ・佐倉市学習状況調査（国語、算数・数学、理科、外国語）を実施し、授業・指導方法の改善に結びつけます。
- ・ICTを活用した情報教育を推進し、児童生徒の学習意欲の向上や「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進め、学習活動の一層の充実を図ります。

(2) 豊かな人間性を育む教育に取り組みます

- ・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」及び佐倉学道徳教材の活用状況を調査し、その結果から佐倉学道徳教材検討委員会において教材等の改訂を行います。
- ・佐倉学道徳副読本を小中学校で活用することにより、児童生徒の郷土を愛する心を育てます。
- ・佐倉市文化祭小中体育大会、体力優良証交付などを行うことにより、児童生徒の体力の向上と健康の保持増進を図ります。
- ・学校給食への地場産物の使用などを通じて児童生徒への食育を推進します。

(3) 良好な学習環境を整備します

- ・【継続】老朽化したトイレの全面改修を進めることで、学習環境の向上を図ります。
- ・小中学校施設の安全対策と老朽化対策に取り組み、施設の維持管理に努めます。
- ・老朽化した給食施設・設備の補修工事を実施し、安全・安心な環境の下で円滑な学校給食運営を図ります。
- ・小規模特認校として指定された弥富小学校及び和田小学校に学校支援補助教員を1名ずつ配置し、少人数によるきめ細かな指導を行います。
- ・【拡充】特別な支援を必要とする幼児児童生徒のいる幼小中学校に特別支援教育

支援員を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習や生活支援の充実に努めます。

(4) 地域に開かれた学校運営を行います

- ・教育懇話会の開催を通して、市民と共に佐倉の教育について考え、今後の教育施策に生かすことで地域に信頼される学校づくりを目指します。
- ・地域との連携を深め児童生徒の登下校時の安全確保に努めます。
- ・学校運営委員会等の学校・家庭・地域の連携を行う取組を推進します。

(5) 安心して学校に通える環境を提供します

- ・「佐倉市いじめ防止基本方針」に基づき、「佐倉市いじめ対策調査会」、「佐倉市いじめ問題対策連絡協議会」、「佐倉市いじめ防止子供サミット」を開催するとともに、学校支援アドバイザーを巡回派遣するなど、いじめ防止のための対策を推進します。
- ・児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、学校教育相談員及び心の教育相談員を配置するとともに、スクールカウンセラーや各関係機関等と連携し、教育相談体制を充実させます。

(6) 市民の生涯学習を推進します

- ・佐倉の教育への関心を高めるため、「佐倉市教育の日」関連行事を充実させます。
- ・地域との連携を持ちながら住みよいまちづくりを考え、実践を通じた生涯学習の場として市民カレッジを運営します。
- ・地域人材の育成を図るための学習の場であるコミュニティカレッジさくらを運営します。
- ・佐倉学事業の充実を図ります。
- ・家庭の教育力向上のため、学校や地域と連携した家庭教育を充実させます。

(7) 生涯学習の環境を整備します

- ・【継続】夢咲くら館の整備を進めます。

(8) 歴史・文化資産を保全・活用します

- ・国指定史跡である井野長割遺跡の適切な維持管理を行います。
- ・歴史文化資産について、各種講座や見学会等を開催し、郷土への関心と愛着を高めます。併せてこれらの資産に関して、ホームページやリーフレット等で広く情報発信を行い、佐倉の歴史文化的な魅力について市内外に周知します。

(9) 芸術文化の普及を推進します

- ・文化情報誌『風媒花』の発行等を通して、芸術文化の普及を促進します。

Ⅲ－１ 教育ビジョンに基づく施策の内容

(1) 学力向上・学習内容の充実に取り組みます

児童生徒の習熟度等を学習状況調査を通じて把握し、各学校の職員研修や指導方法改善に生かすことなどにより、「わかる授業」「楽しい授業」を実践し、「もっと学びたい」という意欲を高めるとともに、各教科や総合的な学習の時間では、自ら課題を見つけ自ら解決する力や学びあいなどを通じてコミュニケーション能力を育てていきます。

また、家庭との連携を図りながら学習習慣の確立に努めます。

■ 確かな学力の向上

○学習指導要領に基づく学習の習熟度を把握するため、全国学力・学習状況調査の全数調査に参加するとともに、佐倉市独自の学習状況調査を実施し、その結果をもとに各学校における児童生徒の確かな学力の定着を図る取組を推進します。

➤ 全国学力・学習状況調査（国語、算数・数学、理科）への参加

〔対象：全小中学校 小学校6学年及び中学校3学年〕

➤ 佐倉市学習状況調査の実施

〔対象：国語、算数・数学 小中学校全学年
理科 小学校3学年～中学校3学年
外国語 小学校5学年～中学校3学年〕

➤ 各学校における学習状況調査結果の分析と指導方法の改善

➤ 主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善

○GIGAスクール構想の実現に向け、タブレット端末を授業等で活用し、児童生徒の学習意欲の向上や「主体的・対話的で深い学び」につながる取組を推進します。

➤ 一斉学習における教員による教材の提示

➤ 授業内での調査活動や表現・制作活動及び家庭学習における個別学習

➤ 発表や話し合いでの意見整理や協働制作におけるグループ学習

➤ 【新規】オンラインによる授業配信や双方向による意見交換

○一人ひとりの児童生徒に確かな学力を身に付けさせるため、基礎・基本の確実な習得を図る取組を推進します。

➤ 全小中学校における「好学チャレンジ教室」の開催

➤ 好学チャレンジプリント等の活用による基礎・基本の徹底

➤ 各学校におけるドリルタイムの工夫や補充学習の充実など学力向上の取組

○近隣大学等との連携を図り、教員志望の意欲・情熱のある学生を小中学校に派遣し、学習指導の一層の充実を図ります。

➤ 近隣大学との連携による学力向上サポートティーチャーの派遣

➤ ちば！教職たまごプロジェクト研修生の派遣

○幼稚園及び全小中学校に英語指導助手^{*1}（ALT）を派遣し、生きた英語に触れる機会を充実させ、児童生徒の英語を用いた実践的なコミュニケーション能力の育成を図るとともに、国際理解教育を推進します。

➤ 英語指導助手の派遣

○佐倉市の重要教育課題に基づき研究モデル校を指定し、市や学校の特色を生かした研究の推進を通して、児童生徒の学力の向上を目指します。

➤ 佐倉市研究モデル校

※ 研究モデル校：本市の教育施策の具現化に向け、モデル校として課題解決について実践研究を進める学校のこと。

- よりよく生きるための道徳性を磨き、自己を見つめる道徳教育
〔西志津小学校（令和元年度～令和4年度）、臼井南中学校（令和4年度～令和5年度）〕
 - 生徒指導の機能を生かした学校体制と学習指導
〔根郷小学校（令和3年度～令和4年度）〕
 - 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導
〔南志津小学校（令和4年度～令和5年度）〕
 - インクルーシブ教育システムを取り入れた授業のあり方
〔白銀小学校（令和2年度～令和5年度）、青菅小学校（令和3年度～令和4年度）〕
 - 佐倉学を通じた社会参画意識を高める学習の工夫
〔西志津中学校（令和4年度～令和5年度）、内郷小学校（令和4年度～令和5年度）〕
 - コミュニケーションを図る資質・能力を高める外国語教育
〔王子台小学校（令和2年度～令和5年度）〕
 - 将来の夢と学業を結びつけ学習意欲を高めるキャリア教育
〔志津中学校（令和4年度～令和5年度）〕
 - 佐倉の特色を生かした食育指導
〔臼井西中学校（令和3年度～令和4年度）〕
 - 地域の特色や人材を生かした学校運営
〔和田小学校（令和2年度～令和5年度）〕
 - ICT機器を活用した学習指導
〔間野台小学校（令和3年度～令和4年度）、臼井中学校（令和3年度～令和4年度）〕
 - 全国学力・学習状況調査、佐倉市学習状況調査等を活用した指導方法の工夫・改善
〔志津小学校（令和3年度～令和4年度）〕
 - 地域の自然や人材を生かした理科の授業改善
〔佐倉小学校（令和3年度～令和4年度）〕
- 公開研究会等への支援
- 令和4年度授業公開及び公開研究会の開催支援

〔その他〕

- 地方技術教育センター指定
「技術・家庭科」〔佐倉中学校（継続）〕
- 青少年赤十字活動採用校
〔内郷小学校（継続）、千代田小学校（継続）、
佐倉中学校（継続）、井野中学校（継続）、佐倉東中学校（継続）〕

○市立幼稚園と小学校の交流の場を増やし、共通理解のもと、小学校への円滑な接続ができるよう、幼稚園における教育内容や指導方法の改善及び充実を図ります。

- 教職員向けの参考資料の作成
- 研究調査や好事例などの情報提供
- 幼稚園への訪問

- 小学校3、4年生を対象に佐倉市や千葉県に関する資料をまとめた社会科副読本を授業で活用することにより、児童の佐倉市や千葉県への関心を高め、知識を深めます。
 - 社会科副読本『わたしたちの佐倉市3、4年生版』の活用
- 小学校理科実験支援員^{*2}を小学校に派遣することで、実験・観察等の授業の充実、科学への関心・意欲の向上、理科室等の環境整備を推進します。
 - 小学校理科実験支援員の派遣
- 児童生徒が自然の不思議さや科学の楽しさを味わい、自然現象への興味や関心を高め、自ら科学する心を育む取組を進めます。
 - 自然科学に関する「楽しい科学教室」の開催
 - 「児童・生徒科学作品展」の開催
 - 「科学の甲子園ジュニア千葉大会」への参加
- 全ての教育活動を通して言語活動を充実させ、学習の基盤となる国語力の育成に努めます。
- 児童生徒の思考力や判断力、表現力などを培う、探究・協同型の授業実践を推進します。
- 習熟度別指導や発展学習・補充学習を取り入れた学習など、個に応じた指導の充実を図ります。

■ 教職員の指導の質の向上

- 教育委員及び教育委員会職員が定期的に学校を訪問し、特色ある教育活動や学校の課題を把握することで、各学校の学校運営や指導方法の改善に役立てます。
 - 教育委員会訪問の実施
- 教職員の適正なサービスの遂行のため、教育委員会職員が計画的に学校を訪問し、諸表簿の点検・指導、サービスの厳正に係る指導及び教育環境に関する指導等を行います。
 - 管理訪問指導の実施
- 指導主事等が計画的に学校を訪問し、指導や助言等を行うことにより、各学校における授業の改善や教員の指導力向上などに取り組みます。
 - 指導主事等のタイムリーアドバイスによる支援
 - 研究モデル校への担当指導主事による支援
- 「佐倉市教職員研修体系」に基づき開催する各種研修会や会議等を通して、教職員の自己研鑽に対する意識を高めるとともに、使命感の涵養と指導力の向上を図ります。
 - 職務別研修
 - ・校長・教頭研修会
 - ・養護教諭研修会
 - ・栄養教諭・学校栄養職員研修会

- 専門研修
 - ・小・中学校理科実験講座（基礎）
 - ・佐倉学研修会
 - ・ALT・JTE合同研修会（小学校）
 - ・ALT・JTE合同研修会（中学校）
 - ・学校保健研修会
 - ・大学公開講座
 - ・教職員実践研究発表大会
 - ・人権教育研修会
 - ・特別支援教育研修会
 - ・教育講演会
 - ・教育相談基礎講座
 - ・教育センター報告会
 - ・【新規】ICT活用研修会

- 担当者会議
 - ・主幹教諭・教務主任会議
 - ・研究主任会議
 - ・生徒指導担当者会議
 - ・特別支援教育担当者会議
 - ・安全主任会議
 - ・ALT担当者会議
 - ・体育主任会議
 - ・長欠担当者会議

○学校・家庭等における教育課題について、教育センターで調査・分析した結果をもとに報告・提言し、各学校の教育活動の充実を図ります。

- 佐倉市教育センター報告会の開催
- 佐倉市教育センターだよりの発行

※ 学校等へ配置する補助教員等の人数 (令和4年度)

※1	英語指導助手	19人
※2	小学校理科実験支援員	1人

(2) 豊かな人間性を育む教育に取り組みます

現代社会は、生活環境や生活様式の変化、コミュニケーション不足などにより家族や地域間のつながりが希薄になっています。また、社会全体のモラルや規範意識の低下も見られます。こうした中で、人間としての在り方を自覚し人生をより良く生きるために道徳教育の充実を図ります。

音楽・図工（美術）等の教科や道徳・特別活動等の領域においては、情操や徳性を養うことにより「豊かな心」を育てていきます。

また、学校給食を生かした食育や健康指導とともに、児童生徒の体力の向上をめざすことにより、「健やかな体」を育てていきます。

■ 心の教育の充実

○児童生徒の郷土佐倉への愛着を育むとともに、人材育成の一助となるよう、郷土の先人や佐倉を素材とした道徳教材のよりよい活用に取り組みます。

- 佐倉学道徳副読本『佐倉の道徳』や地域の自然や文化に関する内容をまとめた「佐倉学道徳教材」を活用した授業の実施
- 佐倉学道徳副読本『佐倉の道徳』及び「佐倉学道徳教材」の活用状況の調査・分析
- 【拡充】佐倉学道徳副読本『佐倉の道徳』、「佐倉学道徳教材」及び指導案の改訂
- 新たな「佐倉学道徳教材」の開発

○自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、あらゆる不合理な差別を許さないなど、人権が尊重された共生社会の実現を担う児童生徒の育成及び支援を行います。

- 学力向上学級の開催
- 小中学校における人権教育推進体制の整備
- 人権週間での取組等の充実
- 教育相談や進路相談の実施

○児童生徒が平和の大切さについて学ぶ機会を設け、一人ひとりが恒久平和を願い、行動することができるよう、平和意識の啓発につながる学習機会を提供します。

- 広島県又は長崎県への佐倉平和使節団の派遣
- 小中学校における平和に関する学習会の開催

○小中学校におけるキャリア教育の推進を通して、児童生徒が他人の生き方や働くことの大切さなどを学び、自分の生き方や将来を考える機会を提供します。

- 小中学校におけるキャリア教育の全体計画の作成
- 職場体験学習の実施
- 東邦大学医療センター佐倉病院と連携した模擬手術体験学習の実施
- 研究モデル校によるキャリア教育に係る実践研究

○児童生徒が学校を離れて行う体験的な学習活動を支援します。また、校外活動を通して、地域の自然や社会と積極的に関わろうとする態度の育成を図ります。

- 子供議会の開催
- 佐倉少年少女発明クラブの開講
- 幼・小・中学校図画書写作品展の開催
- 環境教育に関する指導資料や啓発資料の活用
- みどりの少年団活動の実施
- 各種音楽発表会やコンクールへの参加を支援
- チューリップの植え付け体験学習の実施 等

○地域の社会人を講師とした授業を各学校で実施し、社会人との交流を深め、心豊かな児童生徒の育成を図ります。

- 社会人活用による授業・部活動の充実
- 稲作や野菜作りなどの体験学習の実施 等

■ 学校教育における「佐倉学」の推進

○全小中学校で「佐倉学」に取り組むことで、児童生徒の郷土佐倉への興味、関心を高

め、郷土を愛する心を育てます。佐倉学研修会を開催し、佐倉学への理解促進を図ります。

- 各学校における「佐倉学」の推進
- 佐倉学副読本『ふるさと佐倉の歴史』、『郷土の先覚者』等の活用
- 佐倉の自然に関わる教科横断的な学習の推進
- 佐倉学道徳副読本『佐倉の道徳』等を活用した道徳教育の充実
- 佐倉学研修会の開催
- 「佐倉学」に関する学習への文化課職員の派遣
- 希望校及び希望者を対象とした「佐倉学検定」の実施

■ 読書や芸術文化学習の支援・異文化理解の推進

○楽しい英語教室の開催などを通して、国際理解教育を推進します。

○小学校と市立図書館が連携し、児童に絵本の読み聞かせなどを行い、読書普及に努めます。また、貸出要望があった各小中学校へ読書用図書及び調べ学習用図書の団体貸出を行います。

- 小学校と市立図書館との連携による読書活動の推進
- 小学校訪問おはなし会の開催
- 小中学校への団体貸出の実施
- 本の講座や体験講座等の開催

○ふるさと佐倉の歴史や文化を学ぶことで、日本の歴史や文化への理解を深めるとともに、オランダとの交流事業などを通じて国際理解の推進を図ります。

- 佐倉日蘭協会との連携によるオランダ児童との交流
- 佐倉日蘭協会によるオランダ関連事業の支援

○学校と市立美術館が連携し、授業の一環として優れた芸術文化に触れることにより、児童生徒の豊かな心を育みます。

- 市立美術館における鑑賞教室の開催
- ギャラリートーク、施設見学の実施
- 学校への出前授業の実施
- 中学校の職場体験の受入
- 市立美術館における対話による美術鑑賞プロジェクト ミテ・ハナソウの実施

■ 食育の推進・健やかな体の育成

○児童生徒の体力向上に向けての取組を推進します。

- 佐倉市文化祭小中体育大会の開催
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査への協力
(対象校：全小中学校、対象：小学校5学年及び中学校2学年)
- 各学校での新体力テストへの積極的な参加と結果の分析
- 体力運動能力調査A判定の児童生徒に運動能力証、体力優良証の交付
- 体力向上推進会議等における体力向上推進のための協議
- 民間プールとの連携による水泳授業の取組〔佐倉小学校・西志津小学校〕

○学校給食を通して、児童生徒及び家庭・地域における食育と健康教育を推進します。また、食に関する指導の充実と生活習慣病予防教育における個別相談指導を行い、望ましい食習慣の確立に取り組みます。

- 食育授業の実施
- 給食を生かした健康教育の推進
- 安全・安心な給食を提供するための地場産物を中心とした献立作りの推進
 - ・郷土の先覚者である津田仙が国内に広めた西洋野菜を使用した「津田仙給食」の実施
 - ・多くの地場産物を使用した「佐倉うまいもの自慢献立」を学校給食週間に実施
 - ・「佐倉市教育の日」に関連した「城下町佐倉・江戸ぐるめ献立」の実施
- 地産地消を推進するための地場産物推進会議の開催
- 家庭や地域を対象とした学校給食試食会、家庭教育学級等における食育の推進
- 教科等と関連づけた「食に関する年間指導計画」に基づく指導の充実及び児童生徒の望ましい食習慣の確立
- ホームページの活用、イベントへの参加による食育等の情報提供の推進
- 生活習慣病予防教育における個別相談の充実
- 食物アレルギー対応について理解を深めるため、学校薬剤師と連携し、全小中学校でエピペン研修会の実施

○児童生徒の健康の保持増進を図るため、健康診断、感染症の予防その他学校における必要な保健管理を行います。

- 生活習慣病予防を目的とした健康診断、心臓・腎臓疾患予防対策、歯科管理健診、結核予防対策の実施
- 生活習慣病予防講演会の実施
- 学校歯科医、歯科衛生士の協力を得た歯科管理健診の実施
- 学校医・学校歯科医・学校薬剤師や地域関係者の協力を得た学校保健委員会による活動の推進

(3) 良好な学習環境を整備します

子どもたちの学習活動にとって、安全で、安心して学ぶことができる環境づくりは不可欠です。

学校施設の維持・補修については随時実施するとともに、大規模な改修などについても、計画的な整備を進めます。その他、児童生徒が安全かつ安心して学習ができるように教育環境の充実に努めます。

■ 学校の施設整備の推進

○安全・安心な学習環境の整備に向けて、学校施設やグラウンドの整備を計画的に実施します。

- 小学校施設の環境整備
 - ・【継続】老朽化したトイレの改修工事（校舎・体育館）
〔上志津小学校、下志津小学校、弥富小学校、井野小学校、王子台小学校、青菅小学校〕
 - ・【継続】老朽化したトイレの改修設計（校舎・体育館）
〔佐倉小学校、小竹小学校〕
 - ・【新規】長寿命化改修に伴う耐力度の調査〔内郷小学校〕
 - ・【新規】体育館の照明LED化工事〔小学校11校〕
 - ・【新規】体育館の予防保全改修工事〔根郷小学校〕

- 【新規】貯水槽及び屋外給水管の更新工事〔上志津小学校〕
 - 【新規】電気設備の更新〔佐倉小学校、内郷小学校、志津小学校、臼井小学校、印南小学校、西志津小学校〕
 - 【新規】校舎屋上及び外壁の改修工事〔上志津小学校〕
 - 【新規】教室床の改修工事〔佐倉小学校〕
 - 【新規】廊下床の改修工事〔上志津小学校〕
 - 【新規】給水経路の変更工事〔小竹小学校〕
 - 【新規】グラウンドの改修工事〔千代田小学校〕
- 中学校施設の環境整備
 - 【新規】老朽化したトイレの改修設計（校舎・体育館）〔臼井中学校、井野中学校、西志津中学校、臼井南中学校〕
 - 【新規】老朽化に伴う耐力度の調査〔志津中学校〕
 - 【新規】体育館の照明LED化工事〔中学校7校〕
 - 【新規】電気設備の更新〔臼井中学校、井野中学校、西志津中学校、臼井南中学校、根郷中学校〕
 - 幼稚園・小中学校施設(共通)
 - 【継続】小中学校・幼稚園普通教室等の空調設備の維持管理

○衛生的で機能的な給食施設・設備を維持するため、給食施設・設備の整備を実施します。

- 小中学校給食施設整備
- 【継続】給食備品の購入（立体炊飯器、スチームコンベクションオープン、食器洗浄機 等）
- 【新規】給湯管配管の改修工事〔南志津小学校〕

■ 学校の教育環境の整備

○弥富小学校及び和田小学校（小規模特認校）に学校支援補助教員^{※3}を配置し、少人数によるきめ細かな指導を行うための教育支援を行います。また、自然に恵まれた豊かな環境の中で地域と連携した特色ある教育活動を推進します。

- 弥富小学校及び和田小学校への学校支援補助教員の配置
- 小規模特認校制度の周知及び広報の実施
- 小規模特認校への転入生の募集活動の実施

○多人数の学級を数多く抱える井野小学校、西志津小学校及び志津中学校に学校支援補助教員を配置し、きめ細かな少人数指導及びチームティーチングを実施し、個々の習熟度に応じた学習支援を行います。

- 少人数指導支援推進事業

○教職員が効果的な指導を行える環境を整備するとともに、児童生徒の毎日の学習が支障なく行えるように、小中学校の教材備品等の購入及び維持管理を行います。

- 教職員用の研修図書を購入
- 理科実験後に生じる不要薬品の処理
- 学校に整備されている顕微鏡の維持管理の実施
- 教材備品、体育用消耗品の購入

○GIGAスクール構想に基づくICTを活用した学習環境の整備を推進し、コンピューターを活用した情報教育を充実させます。

- 小中学校で使用するパソコン機器等の整備・運用管理
- セキュリティ対策の強化
- GIGAスクール構想に基づくICTを活用した学習環境の整備

○児童生徒が自主的に読書や情報収集を行うことができる環境を整備することで、豊かな心を育てるとともに、これからの社会で必要とされる知識を取捨選択し、活用する力を育てます。

- 課題図書等の新規購入
- 老朽化した図書の更新
- 日本十進分類法に基づく背ラベルの貼付
- 全小中学校図書館に新聞を配備 等

○児童生徒が読書の楽しさを知り、児童生徒の読書量を増やすため、**学校図書館司書**^{※4}を配置します。また、学校図書館司書の専門的な知識を生かして的確な支援を行うことで学校図書館教育の推進を図ります。

- 学校図書館司書の派遣（11名の司書がそれぞれ3校又は4校を担当）
- 各学校による児童生徒の「読書の時間」への支援

○【新規】新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品を購入することにより、児童生徒の感染を抑え、安全で衛生的な教育施設を維持し、教育活動の継続を支援します。

- 幼稚園・小中学校の感染症対策消耗品の購入

■ 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進

○【拡充】佐倉市教育支援委員会を開催するとともに、支援が必要な幼児児童生徒が在籍する学校（園）に配置する**特別支援教育支援員**^{※5}を増員し、より充実した学習や生活の支援を行うことで、一人ひとりのニーズに応じた教育の推進を図ります。

- 佐倉市教育支援委員会の開催
- 特別支援学級と通常の学級への特別支援教育支援員の配置
- 佐倉市特別支援教育連携協議会による子どもたちへのサポート体制の構築

○ことばの教室を核に、地域の教育資源の組み合わせの活用により、支援が必要な児童があらゆる場面で合理的配慮に基づく支援が受けられる体制を構築します。

- **学校支援コーディネーター**^{※6}の派遣
- ことばの教室（言語通級指導教室）の設置

※ 学校等へ配置する補助教員等の人数（令和4年度）

※3	学校支援補助教員 (小規模特認校 2人・少人数指導支援 3人)	5人
※4	学校図書館司書	11人
※5	特別支援教育支援員	67人
※6	学校支援コーディネーター	2人

(4) 地域に開かれた学校運営を行います

より開かれた学校をめざして、引き続き授業の公開や教育ミニ集会を実施するとともに、アイアイプロジェクト活動をはじめとする地域の方々による学校活動への参加を支援します。

■ 地域に開かれた学校づくり

○「佐倉市教育の日」関連行事として教育懇話会を位置付け、教育ミニ集会との共催事業として教育懇話会を開催し、市民と共に佐倉の教育について考え、今後の教育施策に生かすことで地域に信頼される学校づくりを目指します。

➤ 教育懇話会の開催

○学校と家庭・地域の連携を深め、子どもたちの健全育成を図るため、学校評議員会議、教育ミニ集会を開催します。開かれた学校づくりを推進することにより、保護者や地域から信頼される学校づくりを目指します。

➤ 幼稚園・小中学校において学校評議員会議の開催

➤ 小中学校において教育ミニ集会の開催

○学校・保護者・スクールガードボランティアなど地域の方々との連携により実施するアイアイプロジェクト活動の推進を通して、登下校時の安全確保に努めるとともに、学校と地域の交流を図ります。

➤ アイアイプロジェクト活動の推進

➤ スクールガードフォーラム及びスクールガード交換会の開催

➤ 警備業者委託による登下校時の巡回パトロールの実施

➤ 教育委員会職員による下校時の巡回パトロールの実施

➤ 全小学校において教育委員会職員による学期始めの登校指導の実施

○学校の実情に応じながら、保護者のみならず、地域の方々が学校の運営に参画することにより、地域に開かれ、支えられる学校づくりを推進します。

➤ 学校運営委員会*による学校運営への取組

〔白銀小学校、寺崎小学校、下志津小学校、南志津小学校、和田小学校、
臼井小学校、佐倉東中学校、臼井南中学校、上志津中学校〕

※学校運営委員会：学校・家庭・地域が一体となって、よりよい教育の実現に取り組むことを目的として、佐倉市において設けられた組織。地方教育行政の組織及び運営に関する法律にいう「学校運営協議会」とは異なるもの。

○各学校において、組織マネジメントに基づき、学校の教育活動を点検・評価し、その改善を図り、結果をホームページや学校便り、保護者集会等を活用して公開することにより開かれた学校づくりを推進します。

(5) 安心して学校に通える環境を提供します

いじめは絶対に許されない行為であるという認識の下、引き続き根絶に向けた取組を総合的に進めていきます。学習や生活、友人関係等の悩みや不登校などの問題の解決に向け、教職員研修の充実、学校教育相談員やカウンセラーの配置など各種教育相談機能の充実に引き続き努めます。

そのほか、子どもの貧困の問題に関し、教育に係る負担の軽減を図ることにより、安心して学校に通い、学校生活を送ることができる環境づくりに努めます。

■ いじめや不登校等への対応の充実

○「佐倉市いじめ防止基本方針」及び、小中学校における「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止、早期発見と適切かつ迅速な対処のできるいじめ防止体制の整備を推進します。

- 佐倉市いじめ問題対策連絡協議会の設置及び連絡会議の開催
- 佐倉市いじめ対策調査会の開催
- 佐倉市いじめ防止子供サミットの開催
- 学校支援アドバイザー*7の学校への派遣

○児童生徒が個々の教育的目標を達成するために必要な能力・態度等の育成をサポートし、集団への適応力を高めることができるよう、教育センターや適応指導教室などを活用することで、発達相談・教育相談の充実に努めます。

- 児童生徒教育相談事業の充実
 - ・学校教育相談員*8による教育相談・発達相談、適応指導教室（志津教室・佐倉教室）の運営
 - ・心の教育相談員*9の学校への配置・相談活動の実施
 - ・スクールカウンセラー*10の学校への派遣・相談活動の実施
 - ・教育センターや教育電話相談室における電話又は来所相談の実施
- 生徒指導専門家チームのサポート体制

■ 教育に係る保護者の負担の軽減

○経済的な理由により高等学校等での修学が困難な方を対象として奨学金を支給し、修学援助を行います。

- 奨学資金補助事業

○経済的な理由により就学が困難な児童生徒を支援するため、就学援助制度により経済的負担の軽減を行います。

- 学用品費等、学校給食費、医療費の補助
- 通学に要する費用の一部補助
- 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者への学用品費、通学費等の補助

○市立幼稚園の教育環境を充実させるとともに、保護者の負担を軽減します。

- 幼稚園型一時預かり事業の実施
- 特定の世帯を対象として預かり保育料の無償化又は減額
- 一定の所得階層世帯や多子世帯を対象とした給食費の免除

※ 学校等へ配置する補助教員等の人数 (令和4年度)

※7	学校支援アドバイザー	5人
※8	学校教育相談員	10人
※9	心の教育相談員	8人
※10	スクールカウンセラー	19人

※10は、千葉県教育委員会が配置する者。人数は令和3年度実績数。

(6) 市民の生涯学習を推進します

市民の多様化する学習ニーズに対応し、時代を捉えた学習機会を提供します。また、市民が参加しやすい講座の開設や郷土資料の収集・活用などを通じて、佐倉学を推進します。さらに、生涯学習活動で得られた知識や技能をボランティアとして、地域活動に生かすことができる取組を実施します。

様々な媒体を活用して情報発信を行い、人生100年時代の到来に当たり、市民の生涯学習に関する関心や参加意識の向上に努めます。

■ 生涯学習の推進

○教育に関する市民の理解を高めるとともに、佐倉市の教育の充実と発展を図るため、11月16日の「佐倉市教育の日」を周知するほか、市民参加の各種事業を展開します。

➤ 「佐倉市教育の日」関連行事の開催

○生涯学習による暮らしの充実と自己実現、及び地域で活動する人材の育成を推進します。

➤ 市民カレッジ、コミュニカレッジさくら等の市民大学の開講

○多様な学習の機会と場、各種団体の活動情報などを提供し、公民館における生涯学習の推進を図ります。

➤ 家庭教育、青少年教育、成人教育等の各種講座の開催

➤ 多様な学習や集会の場、団体情報等の提供

➤ 学校や生涯学習に必要な視聴覚教材・機材の貸出

➤ 『公民館だより』等の発行

○読書に親しむ機会を充実させ、図書館における生涯学習の推進を図ります。

➤ 子ども向けのおはなし会、おはなしきゃらばん、本の講座や体験講座等の開催

➤ 一般市民を対象にした教養講座等の開催

➤ 保育園・小学校への訪問事業、講師派遣事業、職場体験の実施

➤ 小中学生に向けた「夏休みおすすめブックリスト」の作成

➤ 地域資料の収集、保全、活用

➤ 図書館ボランティア養成講座の開催

○学校の校庭及び体育館等の施設を開放し、市民の健康増進、情操の涵養及び教養の向上に寄与します。

○人権、平和問題について考える機会を提供します。

➤ 人権教育講座講演会の開催

- 図書館のコーナー等に平和に関するパネル展示、資料展示等の実施

■ 生涯学習における「佐倉学」の推進

- 佐倉の特色である歴史、文化、自然等の学習機会の提供を通じて、郷土への理解を深め、郷土愛を育むため、「佐倉学」をテーマとする各種講座等を開催します。
 - 公民館における「佐倉学」の入門講座、専門講座、体験講座等の開催
 - 公民館における佐倉っ子塾の開催
 - 図書館における佐倉学関連講座の開催
 - 佐倉学子供作品展の開催
- 「佐倉学」に関する事業の進捗及び推進に関する連絡・調整を行います。
 - 佐倉学推進会議の開催
- 図書館において、小中学生から一般市民までを対象とする「佐倉学」に関する図書の選定を行うとともに、「佐倉学」に関する情報発信を行い、市民への普及を促進します。
 - 佐倉図書館における「佐倉学コーナー」展示図書の充実
 - 「佐倉学」推薦図書の選定及び普及
 - 「佐倉学」に関係する映像資料の活用
 - 「佐倉学」リーフレットの配布と活用

■ 地域活動の担い手の育成

- 地域で活動する人材の育成に取り組むため、市民カレッジ、コミュニティカレッジさくら等を開設します。
 - 市民カレッジの開講
 - コミュニティカレッジさくらの開講
 - ボランティア養成講座の開催
- 地域の青少年の健全な育成を図るため、地域教育活動団体を支援するとともに、成人教育活動の推進を図ります。
 - 市PTA連絡協議会の活動を支援
 - 各地域教育活動団体の活動の場を提供
- 公民館利用団体や子ども会育成連絡協議会、地域ボランティアの方々に必要な情報を提供することを通して、社会教育団体や地域ボランティアの活動を支援します。

■ 家庭教育の充実

- 子育てにおける家庭教育の重要性を認識し、問題解決を図ることができるよう各種講座や講演会を開催します。また、家庭の教育力向上のため、市立幼稚園及び小中学校に家庭教育学級を開設します。
 - 家庭教育講演会の開催
 - 就学前児童の保護者を対象にした学童期子育て学習講演会の開催
 - 中学入学前児童の保護者を対象にした思春期子育て学習講演会の開催
 - 中学生のための子育て理解講座の開催

- 市立幼稚園・小中学校における家庭教育学級の充実
- 公民館における家庭教育事業の実施

(7) 生涯学習の環境を整備します

市民に利用しやすい生涯学習活動の場として、施設を提供します。また、社会教育施設の効率的な管理運営を行うとともに、施設の改修など、生涯学習に係る環境の整備に努めます。

■ 社会教育施設の整備の推進

○令和5年3月の開館に向けて、「夢咲くら館」の整備を進めます。

- 【継続】施設建設工事の実施
- 【継続】埋蔵文化財の発掘調査
- 【新規】現佐倉図書館の解体設計 等

○【新規】図書館機能と子育て支援機能を融合した「夢咲くら館」の開館に向けて準備を進めます。

- 図書資料、視聴覚資料等の移転及び新規購入
- 備品の購入（書架、テーブル、椅子、展示板・展示ケース、おむつ交換台 等）
- 古文書等の歴史資料の移転準備
- 子育て支援に関する事業の準備
- 佐倉の魅力発信に関する事業の準備 等

○公民館や図書館など、社会教育施設の整備・修繕を進めます。

- 【継続】佐倉南図書館空調設備等についてE S C O事業による維持管理
- 【新規】中央公民館消火ポンプの更新
- 【新規】和田公民館電気設備の更新
- 【新規】臼井公民館空調設備の更新

○図書館運営の基幹となる図書館システムの整備を行います。

- 貸出、返却、蔵書管理システム等の円滑な遂行
- インターネットを活用した蔵書検索、資料予約等サービスの向上

○新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じた図書館運営を行うとともに、利用者の利便性向上を図ります。

- 【継続】全図書館の図書資料、視聴覚資料にRFIDタグを貼付
- 【継続】自動貸出機、自動返却機、蔵書点検機器等のRFID関連機器の活用
- 【継続】図書除菌機を用いた図書の除菌消臭・清掃
- 【新規】RFIDタグに連動した予約受取棚の整備

○市立美術館施設の整備を推進します。

- 【継続】空調設備についてE S C O事業による維持管理
- 【新規】トラックヤード排気ファンの修繕

(8) 歴史・文化資産を保全・活用します

市民の財産でもある貴重な文化財を次代へ継承するため、その保全に努めます。また、埋もれた歴史文化資産を掘り起こし、市民文化資産への登録などをおして新たな佐倉の魅力の創出につなげていきます。また、関係機関と連携し、歴史的建造物等の活用を進めていきます。

■ 歴史文化資産の保全・活用

- 国指定史跡である井野長割遺跡の適切な維持管理を実施するとともに、史跡の保存整備について整備検討委員会を開催し、検討を進めます。また、学校や市民大学等への講師派遣などを通して普及活動に努めます。
- 史跡を共有する酒々井町と共同で国指定史跡である本佐倉城跡の適切な保存・整備を進めるとともに、本佐倉城跡の周知・普及を図ります。
- 歴史的建造物の調査を実施し、文化財指定や登録につなげ、保存と活用を図ります。
 - 旧平井家住宅・旧今井家住宅の適切な維持管理及び修繕の実施
- 埋蔵文化財等の保全・整理や調査研究を進めるとともに、市内外の教育機関・研究者からの活用の要望に対応するために埋蔵文化財や民具等の歴史民俗資料の整理・修復を通して、市の歴史文化の周知・普及を図ります。
- 地域住民に継承された文化資産を選定し、地域住民と共に市内の文化資産を保護します。また、市民文化資産の周知を行うことで、佐倉の歴史文化の普及を図ります。
 - 市民文化資産運用委員会の開催
- 【拡充】登録有形文化財の所有者・管理者の負担を軽減し、文化財の適切な保存・整備を図り、市民の財産である文化財を次代に継承します。
 - 登録有形文化財制度の周知と登録物件の活用推進
 - 佐倉学の学習を支援
 - 【継続】密蔵院薬師堂の修復
 - 【継続】文化財保存活用地域計画の策定
 - 【新規】宝金剛寺蔵七条袈裟・横被修復後の企画展示及び冊子の発行の補助
 - 【新規】ミレニアムセンター佐倉における歴史・文化財に関する資料の展示

■ 佐倉の魅力の掘り起こし

- 歴史文化資産についての各種イベントを開催し、郷土への関心と愛着を高めるとともに、文化財施設や史跡などの価値を発信し、佐倉市の歴史や文化を市内外に広めます。
 - 公民館・小中学校等の各種講座への講師派遣
 - 旧堀田邸、武家屋敷、佐倉順天堂記念館の特別公開の実施
 - 刊行物やリーフレット等による文化財普及活動の実施
 - 歴史学習会の開催
 - 甲冑試着会の開催
 - 文化財説明板の作成
- 佐倉ゆかりの作家に関連した美術展覧会を開催します。
 - 収蔵作品を中心とした郷土ゆかりの作家展の開催（年3回）

(9) 芸術文化の普及を推進します

市民音楽ホールや美術館における演奏会や展覧会の開催など、良質な芸術文化に触れる機会を提供するとともに、市民による芸術文化活動を支援することにより、芸術文化の普及を推進します。

■ 芸術文化の普及の促進

- 芸術文化に関する情報や学習機会を提供するとともに、芸術文化活動団体を支援します。
 - 文化情報誌『風媒花』の発行
 - 芸術文化団体への支援

- 佐倉市と学校法人女子美術大学等との連携共同に関する協定に基づき、教育・文化の振興と発展、人材育成に資する事業を実施します。また、まちづくりや市民生活の中に連携事業が生かせる取組を支援します。
 - 学校法人女子美術大学等との連携事業の実施

- 学校と市民音楽ホールが連携し、音楽に接することを通して、児童生徒の豊かな情操を養う機会を提供します。
 - 学校巡回音楽会の開催
 - 少年少女ハンドベル教室の開催

- 市民音楽ホールを音楽活動の拠点として、クラシック音楽を中心としたさまざまな演奏会を開催し、音楽に親しむ機会を提供します。
 - 金子三勇士ピアノ・リサイタルの開催
 - うみのひファミリーコンサートの開催
 - 辻彩奈ヴァイオリン・リサイタルの開催
 - 大萩康司ギター・リサイタルの開催
 - 三浦文彰・高木竜馬デュオ・リサイタルの開催
 - 寺神戸亮&曾根麻矢子デュオ・リサイタルの開催

- 市立美術館を地域に根付く身近な教育機関として、各種展覧会の企画・開催等を行い、美術に親しむ機会を提供します。
 - イラストレーター「安西水丸展」の開催
 - 鏤骨の細密画「清原啓子展（仮）」の開催

- 広く美術の振興を図るため、市民参加型の展示やワークショップ等を開催します。
 - 対話による美術鑑賞プロジェクト ミテ・ハナソウの実施
 - 新春佐倉美術展の開催

■ 市民の芸術文化活動への支援

- 市民が企画運営に参加・参画する各種事業や行事を開催するとともに、共催や後援による協働事業を推進します。
 - 市民文化祭の開催
 - 新春佐倉美術展の開催

- 市立美術館の市民ギャラリーやホールを地域の芸術文化活動の発表の場として提供します。

Ⅲ－２ 教育センター事業

○運営方針

- ・佐倉教育ビジョンを踏まえ、佐倉市教育の目指す方向性を把握し、学校教育・社会教育に関する調査を行い、これから求められる教育や学校像を明らかにします。
- ・各種相談活動については、相談者の不安や悩みが解決されるよう指導・助言に努めます。
- ・教育課題の調査研究を通して、佐倉市教育の現状と課題について分析・考察し、改善点を明らかにします。

○令和4年度事業計画

月	主な事業内容
4	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談・教育相談開始 ・センター調査研究計画確認 ・学習状況調査作成委員会、佐倉学道徳教材検討委員会準備 ・特別支援教育支援員研修会① 4日(月) 9:30～ (志津コミュニティセンター) ・特別支援教育担当者会議 13日(水) 14:00～ (和田ふるさと館) ・学校図書館研修会① 19日(火) 9:30～ (佐倉市中央公民館)
5	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・言語教育研修会 7日(火) 14:30～ (佐倉市中央公民館) ・佐倉学道徳教材検討委員会① 8日(水) 14:00～ (教育センター) ・学習状況調査作成委員会① 10日(金) 14:30～ (和田ふるさと館) ・学校図書館研修会② 21日(火) 10:00～ (佐倉市中央公民館) ・広報「佐倉市教育センターだより」Vol. 57発行
7	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員研修会② 20日(水) 14:30～ (志津コミュニティセンター)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉市教育相談基礎講座 1日(月) 9:30～ (和田ふるさと館) ・特別支援教育研修会 1日(月) 13:30～ (和田ふるさと館) ・佐倉市教育センター報告会 4日(木) 9:30～ (佐倉市中央公民館) ・学習状況調査作成委員会② 18日(木) 9:30～ (和田ふるさと館) ・佐倉学道徳教材検討委員会② 19日(金) 13:30～ (教育センター)
9	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況調査作成委員会③ 4日(火) 14:30～ (和田ふるさと館) ・佐倉市教育支援委員会① 20日(木) 14:00～ (教育センター)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉学道徳教材検討委員会③ 9日(水) 14:30～ (教育センター) ・佐倉市教育支援委員会② 17日(木) 14:00～ (教育センター) ・広報「佐倉市教育センターだより」Vol. 58発行
12	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況調査実施：対象 中3 ・教職員学習意識等調査実施
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況調査実施：対象 小1～中2 ・佐倉市教育支援委員会③ 12日(木) 14:00～ (教育センター)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館研修会③ 10日(金) 10:00～ (臼井公民館) ・学習状況調査作成委員会④ 14日(火) 14:30～ (和田ふるさと館)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・広報「佐倉市教育センターだより」Vol. 59発行

※ 就学相談、教育相談、教職員相談、学校図書館、教育情報・資料収集は通年実施

Ⅲ－３ 公民館事業

○運営方針

「佐倉教育ビジョン」の基本理念を踏まえ、地域の実態や市民生活の急速な変容に伴う学習要求や生活課題をとらえながら、住みよい地域づくりをめざす市民の連帯意識を高めめます。

それとともに市民が自主的に「集う」「学ぶ」「結ぶ」活動を支援し、よって、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設として、その役割を果たすことに努めます。

中央公民館

○令和４年度事業計画

	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子で土いじり	小学1～3年生と保護者10組	7月～8月 2回	親子で土をいじり陶芸をすることで、親子でふれあう機会を提供する。
	窓ガラスアート	小学生と保護者10組	8月 1回	制作を通して、子供の自由な感性を養うとともに、親子のコミュニケーションを促進する場とする。
	【新規】ロードアート	小学生と保護者10組	8月 1回	制作を通して、子供の自由な感性を養うとともに、親子のコミュニケーションを促進する場とする。
青少年教育	夏休み子どもゼミナール	小学5・6年生と家族 20人	7月～8月 4回	星空観察や環境(エコ)等について学び、自然科学への感心を高める機会とする。(※4回のうち1回は和田公民館と共催。)
	草木染め講座	小学高学年	8月～3月 3回	藍の生葉や落ち葉など身近な素材を使った草木染体験を通して、四季の移り変わりを実感し、自然に関心を持つ心を養う。
	夏休み学習ルーム	小学生から一般市民	7月下旬～8月中旬	夏休み期間中、自主学習の場を提供する。
佐倉学	しめ縄づくり	小学4年生から高校生 10人	12月 1回	しめ縄飾りは、作物の豊作や幸福を運んでくれる歳神様を迎えるための行事で、子ども達が自分で手作りすることで、日本の伝統文化に対する理解や関心を持ってもらう機会とする。
	生活を楽しむ 竹細工の魅力	成人 30人	12月 1回	伝承される竹細工制作体験を通して、身近な素材を用いた物づくりの楽しさを学び、芸術文化を愛し、自らの生活を豊かにするきっかけづくりの場とする。
成人教育	【新規】シニア向けスマホ・タブレット講座 ～LINEとキャッシュレス決済を活用しよう～	60歳以上 各回8人	8月～11月 12回	コロナ禍において新しい生活様式に対応するため、高齢者のICT活用支援を図り、市の情報受信に有効なLINEと、今後も活用の拡充が見込まれるキャッシュレス決済などについて学ぶことのできる講座を、市内6地区の各公民館で実施する。
	佐倉市民カレッジ《であい課程》 第1学年・第2学年2年間の学習コース 《専攻課程》 第3学年・第4学年2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	【第1学年】 成人 80人	5月～2月 32回	高齢化社会の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をとおした生涯学習の場とする。「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の4分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。
		【第2学年】 成人 58人	5月～2月 32回	
		【第3学年】 成人 69人	5月～2月 22回	
【第4学年】 成人 63人		5月～2月 23回		
広報活動	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供する。
	SNS・YouTube	市民	随時	中央公民館の情報を発信する。
ライブラリー	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出。 *ビデオ、DVD教材

和田公民館

○令和4年度事業計画

	事業名	対 象	期間・回数	内 容
家庭教育	子育て教室	地域の幼児、保護者等	年2回	幼児の成長に必要な体験、学習等を通して、子育てコミュニティの充実を図る。
	楽しく家庭教育講座	地域の幼児、保護者等	前期、後期各1回	児童の成長に必要な体験、学習等を通して、家庭教育環境の向上を促す。
青少年教育	剣道教室	地域の小学生等 20人	5月～3月 40回	異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20人	10月中旬	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
	夏休み子どもゼミナール	小学校5・6年生と 家族20人	8月 1回	宇宙に係る講座と星空観察を行う。(中央公民館と共催。)
	子ども芸術鑑賞会	地区の小学生	3月 1回	優良な映画の鑑賞やその他様々な機会を提供することで、心の成長を促し文化芸術等の素晴らしさ・楽しさを知ってもらう。
	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各20人	6月～2月 3回	地域の食材を生かした料理教室を実施し、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 各15人	年2回	創造力をはぐくむ講座。(手工芸、凧作りなど、身近な伝統文化の体験学習を予定)
成人教育	和田市民大学手芸教室	60歳以上の 地区の成人10人	4月～3月 11回	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図る。また受講生により、再利用を通じて物を大切にすることを子どもたちに指導する。
	和田工芸講座	市内の成人 10人	年4回	和田の特色ある工芸である「はたおり」「陶芸」「わら工芸」等の講座。
	【新規】 ギター演奏会	市内の成人等 40人程度	3月 1回	市内在住のクラシックギター奏者による春の演奏会を行う。
	和田地区防災講習会	地区の成人 50人	1月下旬	地域づくりの実践現場で役立つ防災や防犯について実践的な訓練を行う。
	合同研修会	地区内の住民団体	1月上旬 1回	人口減少・少子高齢化などの地域課題等に対応するための研修会。
佐倉学	佐倉学講座 楽しく学べる和田地域学	市内の成人 15人	9月～3月 5回	地域住民の協力を得ながら、和田地区の自然・歴史・文化・産業等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
育団成体	団体育成事業	和田小PTA民俗資料 収集委員会・和田はた おり保存会・和田地区 青少年育成住民会議 他	通年	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう、協力・支援する。
広報・展示	公民館だより発行	和田地区全世帯	年3回発行	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布する。(各700部)
	歴史民俗資料室展示	一般	通年	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示及び市内小学校の社会科見学の際に解説を行う。
事図書	図書貸し出し	一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携し、リクエスト図書の提供をする。

弥富公民館

○令和4年度事業計画

	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	やとみ家庭教育講座	乳幼児をもつ保護者 10組	6月～12月 3回	子育てにおける家庭の働き、あり方や子供の発達に必要な事柄を学習し、保護者同士の交流の場とする。
青少年教育	佐倉っ子塾 弥富剣道教室	小学生 20人	5月～2月 38回	剣道の稽古を通じて児童の心身を鍛練し、千葉県指定無形文化財「立身流」をも学ぶ。
	星空観察会	小学生と保護者 10組	7月～3月 1回	弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで、天体・科学への興味を育む。
	なんでも体験弥富塾	弥富小学校児童 40人	6月～2月 4回	自然体験や工作、料理など様々な体験を通じて子供たちの創造性や協調性、豊かな心を育む。
成人教育	グラウンドゴルフ	弥富地区の住民 40人	6月 1回	児童から高齢者まで一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、地区住民の健康増進と異世代間の交流を図る。
	地域防災講座	弥富地区の住民 40人	6月～2月 1回	地域の防災力向上を目指して実践的な講習、訓練等を行う。
	「くらしの講座」 布ぞうりづくり	市内の成人 8人	6月～3月 1回	弥富地区で継承されてきたぞうりづくりの技法を次代に伝えるとともに、世代間を越えた交流を図る。また、地域人材の活用・育成を図る。
	佐倉学入門講座 歴史講座「弥富の歴史」	市内の成人 20人	8月～12月 2回	高齢者から現役世代成人を対象に、地域の伝統・文化・歴史について学び、伝えていく講座を開催する。
	佐倉学入門講座 「弥富を歩く」	市内の成人 15人	5月～3月 2回	散策を通して弥富地区に残る豊かな自然・植生等について学び、地域への理解を深める。
佐倉学	佐倉学体験講座 「クラフトバンドで塩古ざるづくり」	市内の成人 10人	8月～2月 1回	弥富周辺地域(塩古郷)に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するため、加工しやすいクラフトバンドを用いて編み上げの技法を学ぶ。
	佐倉学体験講座 「竹炭づくり体験」	市内の成人 10人	8月～2月 1回	弥富地区の特性を生かした竹炭づくりを体験することにより、地域への理解を深める。
育団成体	地域団体支援	弥富地区の住民	通年	ふるさと弥富を愛する会・弥富地区社会福祉協議会・青少年相談員・弥富地区青少年育成住民会議の活動に対する協力・支援を行う。
活広動報	公民館だより	弥富地区全世帯	年3回 約700部	公民館事業の案内、募集、施設利用等の情報提供を行う。
事図業書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年	佐倉市立図書館の協力により図書コーナーを充実させ、図書の貸出・返却を行う。

根郷公民館

○令和4年度事業計画

事業名		対象	期間・回数	内容	
家庭教育	親子で遊ぼう ぼっぼちゃんくらぶ	2歳児と 保護者12組 (6組×2コース)	前期: 5月～6月 後期: 10月～11月 各コース6回	親子と一緒に運動や絵本、手遊び・工作等を楽しみ、幼児の様々な発達を促す。	
	こども工房	子どもと家族 8組	12月 1回	子どもとその家族で行うワークショップを通じて、豊かな心を育むプロセスと時間を提供する。家庭の教育力の向上を図る。	
青少年教育	防災デイキャンプ	根郷地区 小中学生21人	7月 1回	災害時に役立つスキルを学ぶとともに、子供たちの自主性・協調性を高め、心豊かでたくましく生き抜く力を育む。	
	子ども体験講座	勾玉作り 小学4～6年15人 絵画教室 小学1～6年15人	7月～8月 2回	体験型事業として、「勾玉作り(1回)」、「絵画教室」(1回)を開催し、子どものやる気や自主性・協調性等を養う。	
	佐倉っ子塾 生活環境課 共通講座(水辺観察会)	小学生 20人	9月～12月 1回	印旛沼等の自然環境やその他の自然体験学習により、環境への意識を育む。	
成人教育	根郷寿大学	60歳以上 46人	5月～3月 奇数月開催 6回	郷土の歴史や文化、健康づくり、社会現象等 幅広い分野を学び、教養の向上と社会参加の推進を目的とし、また受講者同士の交流を図る。 ①歴史・文化(佐倉の歴史等) ②健康づくり(生活習慣病予防講座)	
		60歳以上 46人	6月～3月 偶数月開催 6回		
	シニア向け 健康づくり講座	成人 20人	10月 4回	健康の維持増進を図り、生活習慣病予防を目的として、日常生活の中で簡単に出来る有酸素運動等を中心に健康体操を実践する。	
	シニアのための スマートフォン講座	60歳以上 20人	9月～10月 1回	スマートフォンを、安心・安全に使うには、どうしたらよいか。Docomo社員を講師に招き、理解を深める。	
	園芸教室	成人 20人	6月 2回	佐倉ハーブ園と連携して園芸教室を開催する。体験教室として、季節のハーブの寄せ植え等を行う。基礎講座1回、ハーブ園見学1回。	
	防災講座	成人 30人	9月 3回	地域住民の防災意識の向上させることにより、地域の防災力を強化する。明治安田生命との連携協定事業。	
	県文書館出前講座	成人 40人	11月 1回	「千葉県における電気事業の変遷と発展」 講師:中臺綾子氏	
	佐倉学	佐倉学入門講座	成人 各40人	6月・12月 2回	佐倉をテーマに学び、郷土に関する知識を高める。
		佐倉学入門講座 「根郷ふるさと探訪」	成人 各10人	4月・10月 2回	根郷地区を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しむ。(野草観察会)
		佐倉学体験講座 「根郷産こんにやくを使った こんにやく作り講座」	成人 10人	12月 1回	こんにやく芋から、こんにやくを手作りして調理する。
団体育成	根郷地区社会教育 関係団体への支援	該当団体	通年	南部地区子ども会育成会連絡協議会、根郷地区青少年育成住民会議及び各種団体の活動を支援する。	
活動報	根郷公民館だより	根郷地区の 各世帯・事業所	4月・9月 2回発行	公民館の主催事業、利用団体の活動、地区の情報等を掲載した館報を発行する。	
事業図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年 1人10冊 2週間まで	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携し、リクエスト図書の提供をする。	

志津公民館

○令和4年度事業計画

	事業名	対象	期間・回数	内容	
家庭教育	笑顔で子育て応援講座	子どもと保護者	5月～3月 1回	子どもが健全に育つための、親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図る。	
青少年教育	志津子ども教室	小学生	5月～3月 1回	体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。	
	ちょこボラ (公民館でちょこっとボランティア)	中学生 高校生	通年	青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育む。	
成人教育	しづ市民大学	しづ学入門	成人 30人	5月～12月 10回	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に繋げる。
		健康とくらし	成人 30人	5月～12月 10回	地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るため、様々な情報を学び地域に還元することを図る。
		【新規】 みんなの家政学	成人 30人	5月～12月 10回	日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を中心に、生活にまつわる食事や家事、家庭の管理など、生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。
	佐倉学	特別講座(講演会)	成人 30人	8～2月 1回	佐倉の歴史等に関する講座を開催する。
		佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人 10人	10～12月 4回	井野長割遺跡を中心に志津地区の遺跡の成り立ちを学ぶことから、郷土愛や、遺跡保存の意識を高める。
		佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」	成人 10人	11月～2月 6回	佐倉城主が通った「佐倉道」を歩き、城下町佐倉や周辺地域の歴史も含めて理解を深める。
団体育成	サークル運営研修会	公民館利用 サークルの代表者 約120名	4月～5月 1回	グループ活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め、地域活動につなげる。	
	調理室利用サークル懇談会	調理室利用 サークル	8月～2月 1回	調理室の効果的利用方法を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。	
	市子連事務	志津地区 加盟子ども会	通年	各種事業の広報と子ども会安全会事務。	
	志津地区社会教育 関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。	
活広動報	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区各戸配布 市内主要施設配布	4月、10月 各18,000部	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。	

臼井公民館
○令和4年度事業計画

		事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育		BOOK&PARK (公園ライブラリー)	幼児～成人 30人	5月～11月 4回	誰もが気軽に利用する公園に絵本や図鑑を展示し、子供たち向けに絵本の読み聞かせや、公園にある草花を図鑑で調べるワークショップを行う。本の世界に親しむとともに豊かな感受性を育むことを目的とする。
		ストリートオルガン コンサート	幼児～成人 15人	4月～3月 6回	佐倉市民音楽ホールが所有する3台のストリートオルガンによるミニコンサートを開催する。演奏後には、ハンドルを回す演奏体験も行う。
青少年教育		水辺観察会 「夏休み 子供水辺探検ツアー」	小学校4～6年生 20人	7月 1回	環境意識を育む「水辺の自然観察会」を実施し、水辺環境を身近なものと捉える目を養う講座。(生活環境課共同事業)
		星空観測教室	小学生 15人	8月 1回	星空についての解説や望遠鏡による惑星等の観測をすることで星空の世界に親しんでもらい、理科教育の興味関心を引き立てることを目的とする。(草ぶえの丘共催事業)
		バックステージツアー	小学生と保護者 3組	8月 1回	音楽ホールの普段見ることのできない裏廻り(バックステージ)の見学と、演奏会を支えている音響、照明などを体験し、舞台芸術の仕事への理解を深める。
		小6 理科実験室	小学校6年生 10人	8月 1回	小学6年生を対象とし、実験を通して理科科学のおもしろさを体験することで、中学校での理科学習への関心を深める。
成人教育	佐倉学	佐倉学入門講座	成人 20人	10月 1回	臼井・千代田地区の歴史自然について学び、郷土の魅力に触れる。
		佐倉学専門講座	成人 各20人	4月～12月 2回	臼井及び周辺の歴史・文化・自然や環境の変遷について学び理解を深める。
	育	ちょっといいとこ 見て歩き	成人 各20人	4月～12月 2回	佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、歴史・文化・自然や環境の変化について学び理解を深める。
コミュニティ		コミュニティカレッジさくら	18歳以上30人 ×2学年	5月～2月 18回	地域を見つめ、実践活動を通しまちづくりに取り組む人材の育成を目的とし、年間18日程度(月2回)学習する。
育団成体		臼井地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 5団体	4月～3月 3回	単位子ども会の円滑な運営を図るための相談・研修・情報交換や地区子連主催事業を行う。
広報・展示活動		臼井公民館だより発行	主に 臼井・千代田地区	年2回	公民館の事業紹介や募集、地域の情報などを提供する。
		まちづくり資料室展示	小学生～成人	通年	臼井地区に関する歴史や遺跡などについて理解と関心を深める資料展示を行う。
		サークル展示活動支援	市内団体	通年	市内の美術サークル等に対して展示室を1週間単位で提供し、各種展示会を開催することで、地域文化の向上に寄与する。
事図書		図書の貸出等	幼児～成人	通年	図書の貸出/返却受付/相談などを行い、市民の学習活動促進を図る。

Ⅲ－４ 図書館事業

○運営方針

図書、記録その他必要な資料の収集整理及び保存を行い、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的に図書館サービスに努めます。

また、利用者が快適な環境で図書館を利用できるよう施設の運営に努めます。

○令和４年度事業計画

事業名	対象	期間・回数	内容
【新規】 れきはくのはんだな ～みてから読むか、読んでからみるか深読み 歴博体験～	一般・児童	年3回	歴博の企画展示に合わせて、歴博と連携しながら、展示内容をさらに理解するための資料を収集し、展示・貸出を行う。
みんなのおすすめ本紹介	市内在住 在勤・在学者	年1回	市民より本の紹介文(POPなど)を募集し、HPに掲載、市内図書館で掲示を行う。
おすすめの本棚ブックリストの作成	市内小学生 中学生	7月	おすすめする本のリストを作成・配布する。
ヤングアダルト向け本の紹介	小学校高学年 ～高校生	随時	ヤングアダルト世代の利用者が、自分が読んだ本の概要・感想を所定の用紙に書き、同世代の利用者に紹介する。 ※図書館は用紙を回収し、紹介コーナーに掲示する。
企画展示	一般・児童	通年	行政関連、平和教育、時事問題等テーマ別に図書館資料を展示する。
えほんと手遊び・わらべ歌のおはなし会	0・1歳児 保護者	随時	絵本の読み聞かせ、手遊び、わらべ歌等を行う。
えほんのおはなし会	2・3歳児 保護者	随時	絵本の読み聞かせ、手遊び、わらべ歌等を行う。
訪問おはなし会	保育園 小学校等	随時	保育園等に出向き、絵本の読み聞かせ、すばなし、ブックトーク、図書館紹介等を行う。
おはなし会リソース学級	根郷中学校	年3回	根郷中学校リソース学級の生徒を対象に、絵本の読み聞かせとブックトークを行う。
図書館ガイダンス	根郷中学校	年1回	根郷中学校1年生を対象に図書館のサービス内容、利用方法等を紹介する。
おとなのためのお話会	一般	年2回	大人を対象として、すばなし(昔話・文学作品・古典など)を行う。また、関連本の紹介も行う。
おはなしきゃらばん	幼児・児童	通年	おはなしきゃらばんによる人形劇・大型紙芝居等のおはなし会を行う。
地域資源を活用した家庭教育事業	乳幼児 保護者	年3回	親子で参加できる体験型事業として自然を活用したワークショップ等を行う。

事業名	対象	期間・回数	内容
ホームページ 動画コンテンツ事業	一般・児童	随時	家にいながらできることや楽しめることをYouTube動画にして情報発信をする。
地域メディアの活用による図書館情報の発信	子ども～一般	毎月	地域情報誌「ちいき新聞」に、『図書館 今月のおすすめの本』の記事を連載。毎月テーマを決め、本の紹介・図書館からのお知らせを掲載し、情報発信する。
佐倉学事業 「まちかどミュージアム」	一般・児童	年1回	「佐倉学」をテーマとしてパネル展示を行う。
映画上映会	子ども～一般	年2回	図書館に親しんでもらうことを目的として、図書館の所蔵する視聴覚教材より上映会を行う。
団体貸出	保育園、 小・中学校等	随時	年齢別等にパックを用意して貸出しを行う。 保育園≪読み聞かせ用≫ 小学校≪読み物用≫ 小・中学校≪佐倉学・調べ物用≫
ブックリサイクル	一般	随時	寄贈本や除籍図書について、市民へ無償で提供し資料の有効利用を行う。
ボランティア養成講座	対面朗読ボランティア登録者	年1回	対面朗読ボランティアのスキルアップ講座を行う。
職場体験・職場見学 図書館実習の受入れ	小学生～大学生	随時	図書館の仕事体験・見学等を受け入れ、図書館について理解を深めてもらう。
官学連携事業 千葉敬愛短大講師派遣	敬愛短大 大学生	計11回	千葉敬愛短期大学において開講される、認定絵本士養成講座カリキュラムに他市図書館等と連携して、ゲストスピーカーを担当する。

Ⅲ－５ 市民音楽ホール事業

○運営方針

音楽文化の活動拠点として、各分野の演奏会を実施するほか、学校巡回音楽会、市民の自主的な音楽活動の支援等を通じて、広く音楽文化の振興を図ります。

また、児童・生徒に音楽鑑賞の機会や実際に音楽活動に参加する機会を提供することで、子どもたちの豊かな感情や情緒、豊かな心を育みます。

○令和４年度事業計画

	事業名	月日	内容	分野	備考
鑑賞	金子三勇士ピアノ・リサイタル	6月26日	ピアニスト・金子三勇士によるリサイタル。 日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれた金子三勇士は、6歳で単身ハンガリーに渡りバルトーク音楽小学校に入学。日本に帰国後も国内外の著名オーケストラと多数共演するほか、積極的に活動を行っている。	器楽	主催
	うみのひファミリーコンサート	7月18日	未就学児も対象とした邦楽コンサート。邦楽四重奏団による、箏、三絃、十七絃、尺八の演奏。 (千葉県文化振興財団と合同で開催)	邦楽	主催
	辻彩奈ヴァイオリン・リサイタル	11月27日	辻彩奈によるヴァイオリン・リサイタル。 18歳にて2016年モントリオール国際音楽コンクール第1位、併せて5つの特別賞を受賞。その他国内外の多くのコンクールで優勝や入賞の実績を持つ。	器楽	主催
	大萩康司ギター・リサイタル	12月18日	大萩康司によるギター・リサイタル。 日本国内での精力的な活動に加え、世界各国に活躍の幅を広げ、各地で熱狂的な支持を得ている。ルネサンスから現代曲まで多彩なレパートリーを持ち、ソロ、室内楽、協奏曲と幅広く取り組んでいる。	器楽	主催
	三浦文彰×高木竜馬デュオ・リサイタル	1月22日	ヴァイオリニスト・三浦文彰と、ピアニスト・高木竜馬の若手演奏家2名によるデュオ・リサイタル。 三浦文彰は、2009年世界最難関とも言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。 高木竜馬は、1992年千葉市生まれ。日本及びノルウェーを始め、ヨーロッパ各地の著名ホールでのリサイタルに出演、主要オーケストラとの共演を果たす。	室内楽	主催
寺神戸亮・曾根麻矢子デュオ・リサイタル	2月12日	ヴァイオリニスト・寺神戸亮と、チェンバロ奏者の曾根麻矢子によるデュオ・リサイタル。 寺神戸亮は、「バッハ・コレギウム・ジャパン」のコンサートマスターとして活躍、日本を代表する古楽奏者として幅広い活動を行っている。 曾根麻矢子は、1983年より通奏低音奏者としての活動を開始。国内においてはリサイタル、室内楽と積極的な音楽活動を展開している。	室内楽	主催	
参加	コンサートグランドピアノ3台を弾いてみよう！ ～スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハ～	5月14日 8月26日 8月27日 2月及び3月 (日程未定)	市民音楽ホールが所有する3台のピアノ(スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハ)の弾き比べ体験会を実施。	器楽	主催

	事業名	月日	内容	分野	備考
講座	バックステージツアー	8月4日	普段見る事ができない音楽ホールの舞台裏や舞台の仕事を見学し、コンサートがどのようにして作り上げられるのかを学ぶ講座。臼井公民館との共催事業。	講座	主催
学校巡回音楽会	学校巡回音楽会 「千葉交響楽団」(出前) (臼井中学校)	6月14日	毎年市内の小中学校を対象に実施している演奏会。千葉県のプロオーケストラである千葉交響楽団の演奏で、音楽の授業やテレビ・CDなどでなじみのある音楽を生で聴く機会を中学生に提供する。	管弦楽	主催
育成	佐倉シティープラス 第34回ファミリーコンサート	6月5日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉シティープラスのコンサート。	吹奏楽	共催
	佐倉シティープラス 第25回小さな秋のコンサート	9月25日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉シティープラスのコンサート。	吹奏楽	共催
	佐倉ウインド・アンサンブル 定期演奏会	12月4日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉ウインド・アンサンブルの定期演奏会。	吹奏楽	共催
	佐倉フィルハーモニー 管弦楽団 定期演奏会	12月11日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会。	管弦楽	共催
	佐倉シャルマン・ウインド・ オーケストラ 定期演奏会	2月19日	佐倉市民音楽ホール育成団体である佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラの定期演奏会。	吹奏楽	共催
教室	少年少女ハンドベル教室	通年	佐倉市民音楽ホール主催のハンドベル教室。月3回、土曜日又は日曜日に佐倉市民音楽ホール練習室もしくは臼井公民館で練習し、佐倉市民音楽ホールでのコンサート等に出演している。	器楽	主催
その他	ストリート・オルガン・コンサート	隔月1回	佐倉市民音楽ホール所蔵の3台のストリート・オルガンによる迫力ある演奏会。休日の午後など、隔月1回の演奏会が行われる。	器楽	主催

Ⅲ－６ 美術館事業

○運営方針

- 1 多くの著名な美術家を輩出した郷土の美術に関する調査、研究、収集を行い、展覧会を通じて、佐倉ゆかりの作家の功績を紹介し、市民の芸術文化に対する理解を広め、郷土への愛着を育みます。
- 2 市民に親しまれる芸術文化活動を育み、地域に定着することをはかり、調和のとれた「まちづくり」に寄与するよう努めます。

○令和４年度事業計画

	事業名	月日	内容
企 画 展	イラストレーター 安西水丸展 (有料)	8月6日～ 9月25日	幼少期を母の生地の千葉県千倉で過ごしたイラストレーター安西水丸(あんざい みずまる/1942-2014)の回顧展。
	鏤骨の細密画 清原啓子展(仮) (有料)	11月1日～ 12月18日	千葉県ゆかりの銅版画家・深沢幸雄に師事し、31歳で夭折した清原啓子(きよはら けいこ/1955-87)の回顧展。銅版画全作品、試刷り、素描、原版等を展示予定。
収 蔵 作 品 展	収蔵作品展 新収蔵作品を 中心として (無料)	4月5日～ 5月22日	浅井忠や高橋凡平ら、佐倉及び千葉県にゆかりのある作家の新収蔵作品を中心に紹介します。
	収蔵作品展 人間国宝・香 取正彦の仏具と佐倉の工芸 (無料)	5月28日～ 7月18日	幼少期を佐倉で過ごし、重要無形文化財保持者(人間国宝)となった鑄金家・香取正彦(かとり まさひこ/1899-1988)の仏具をはじめ、佐倉ゆかりの工芸家の作品を紹介します。
	収蔵作品展 うつりゆく佐倉 (仮) (無料)	1月28日～ 3月21日	佐倉ゆかりの作家の作品と佐倉市の写真等を紹介し ます。洋画家浅井忠、金工家香取秀真、津田信夫、人形作 家堀柳女の作品も展示します。
教 育 普 及	対話による美術鑑賞 プロジェクト ミテ・ハナソウ	通年	対話による鑑賞をリードするボランティアを育成し、学校団 体の対応や、来館者の作品に接する楽しさを広げる取り 組みを進めます。また、感染症の拡大防止により求められる 新たな取り組みとして、オンラインによる対話型美術鑑賞 を開催します。
	新春佐倉美術展	通年	佐倉を拠点として活動する現代作家による絵画・彫刻・工 芸・書の作品を一堂に集めて紹介します。美術展開催に 向け、実行委員の活動を年間を通じて支援します。
学 校 連 携	学校連携プログラム (佐倉学)	通年	市内小中学校を対象に、美術鑑賞教室や学校への出前 授業などを行い、美術や美術館への関心を持てる事業を 展開します。 佐倉学として、佐倉ゆかりの作家である、浅井忠や香取秀 真、津田信夫等の生い立ちや美術史上の業績などにつ いて広める活動を行います。

Ⅲ－７ 佐倉学

「佐倉学」は、「佐倉教育ビジョン」の重点目標の一つとして位置づけ、平成15年4月から社会教育や学校教育のそれぞれの分野で取り組んでいます。

佐倉の自然、歴史、文化、ゆかりの人物を学ぶことで、郷土をいつくしむ心を育み、よりよい明日を考えて行動する力を培います。教育委員会では、人づくり、地域づくりにつながる「佐倉学」が学習できるように場を提供するとともに、学校での子どもたちの学習を支援します。

【社会教育】

○令和4年度佐倉学講座（入門講座・専門講座・体験講座）

日 時	担 当	内 容
12月 1回	中央公民館	「しめ縄づくり」 しめ縄飾りは、作物の豊作や幸福を運んでくれる歳神様を迎えるための行事で、子ども達が自分で手作りすることで、日本の伝統文化に対する理解や関心を持ってもらう機会とする。
12月 1回		「生活を楽しむ 竹細工の魅力」 伝承される竹細工制作体験を通して、身近な素材を用いた物づくりの楽しさを学び、芸術文化を愛し、自らの生活を豊かにするきっかけづくりの場とする。
9月～3月 5回	和田公民館	「楽しく学べる和田地域学」 地域住民の協力を得ながら、和田地区の自然・歴史・文化・産業等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
8月～12月 2回	弥富公民館	歴史講座「弥富の歴史」 高齢者から現役世代成人を対象に、地域の伝統・文化・歴史について学び、伝えていく講座を開催する。
5月～3月 2回		「弥富を歩く」 散策を通して弥富地区に残る豊かな自然・植生等について学び、地域への理解を深める。
8月～2月 1回		「クラフトバンドで塩古ざるづくり」 弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するため、加工しやすいクラフトバンドを用いて編み上げの技法を学ぶ。
8月～2月 1回		「竹炭づくり体験」 弥富地区の特性を生かした竹炭づくりを体験することにより、地域への理解を深める。
6月・12月 2回	根郷公民館	「佐倉学入門講座」 佐倉をテーマに学び、郷土に関する知識を高める。
4月・10月 2回		「根郷ふるさと探訪」 根郷地区を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しむ。 （野草観察会）
12月 1回		「根郷産こんにやくを使ったこんにやく作り講座」 こんにやく芋から、こんにやくを手作りして調理する。

8月～2月 1回	志津公民館	「特別講座（講演会）」 佐倉の歴史等に関する講座を開催する。
10～12月 4回		「井野長割遺跡を学ぶ」 井野長割遺跡を中心に志津地区の遺跡の成り立ちを学ぶことから、郷土愛や、遺跡保存の意識を高める。
11月～2月 6回		「佐倉道を歩く」 佐倉城主が通った「佐倉道」を歩き、城下町佐倉や周辺地域の歴史も含めて理解を深める。
10月 1回	臼井公民館	「佐倉学入門講座」 臼井・千代田地区の歴史自然について学び、郷土の魅力に触れる。
4月～12月 2回		「佐倉学専門講座」 臼井及び周辺の歴史・文化・自然や環境の変遷について学び、郷土の魅力に触れる。

○令和4年度佐倉っ子塾

日 時	担 当	内 容
6月～2月 3回	和田公民館	「料理教室」 地域の食材を生かした料理教室を実施し、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める。
年2回		「伝統文化体験教室」 創造力をはぐくむ講座。(手工芸、凧作りなど、身近な伝統文化の体験学習を予定)
5月～2月 38回	弥富公民館	「弥富剣道教室」 剣道の稽古を通じて児童の心身を鍛練し、千葉県指定無形文化財「立身流」をも学ぶ。
9月～12月 1回	根郷公民館	「(生活環境課 共通講座)水辺観察会」 印旛沼等の自然環境やその他の自然体験学習により、環境への意識を育む。

○令和4年度佐倉学連携事業

日 時	担 当	内 容
年1回	社会教育課 図書館 文化課 美術館	「まちかどミュージアム」 「佐倉学」をテーマとしてパネル展示を行う。
10月 1回	社会教育課 小中学校	「佐倉学子供作品展」 小中学校から出品された佐倉学に関する作品について、美術館で表彰、展示を行う。

【学校教育】

教科・領域	学習項目・単元	対象学年	学習(活動)内容	資料等
社会科	わたしたちのまち みんなのまち	小学校 3年	・学校の周りを探検したり、市内の特徴ある場所を調べたりすることで佐倉についての理解を深め、愛情を持つ。 ・調べたことを資料にまとめ、発表する。	社会科副読本「わたしたちの佐倉市」まち探検
	郷土の先覚者 「佐藤泰然」	小学校 4年	・地域の発展に尽くした先人の具体的事例として取り上げ、医学の面で地域の人々の生活の向上に尽くした人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者シリーズ「佐藤泰然」
			・佐倉順天堂記念館見学	佐倉順天堂記念館
	郷土の先覚者 「堀田正睦」	小学校 6年	・江戸時代末期の「開国」を指導する単元で取り扱う。 ・日本を開国に導くために力を尽くした人物の働きや苦労を考える。 ・佐倉藩の藩政改革に触れ、新しい学問等を取り入れようとした佐倉藩の「好学進取」の気風にも触れる。	郷土の先覚者シリーズ「堀田正睦」
	身近な地域の歴史	中学校 1年	・日本の歴史学習の中で、佐倉の歴史に触れる。 ・詳しく調べたい生徒は、ふるさと歴史読本シリーズを活用する。	ふるさと歴史読本シリーズ副読本「ふるさと佐倉の歴史」
			・佐倉市立美術館の見学	佐倉市立美術館
郷土の先覚者 「林 董」	中学校 2年	・外交官として日英同盟を結び、政治の世界で日露戦争時に活躍した人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者シリーズ「林 董」	
郷土の先覚者 「西村勝三」		・武士から商人になり、製靴・製革・耐火煉瓦の製造に取り組み、当時としては、いずれも日本を代表する規模にまで高めた人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者シリーズ「西村勝三」	
美術科	郷土の先覚者 「香取秀真」 「津田信夫」	中学校 3年	・日本の近代工芸の先駆者として、日本の芸術振興に寄与した人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者シリーズ「香取秀真」 「津田信夫」
			・佐倉市立美術館の見学	佐倉市立美術館
道徳	「津田梅子」	小学校 1・2年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 津田梅子…主題名「最後までやりぬく」	道徳副読本「佐倉の道徳」
	「堀田正倫」 「佐藤泰然」	小学校 3・4年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 堀田正倫…主題名「郷土の人のために」 佐藤泰然…主題名「みんなのために」	道徳副読本「佐倉の道徳」
	「津田 仙」 「西村茂樹」 「浅井 忠」	小学校 5・6年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 津田 仙…主題名「新しい方法を取り入れ未来をひらく」 西村茂樹…主題名「希望をもって生きる」 浅井 忠…主題名「夢に向かって」	道徳副読本「佐倉の道徳」

教科・領域	学習項目・単元	対象学年	学習(活動)内容	資料等
道徳	郷土の先覚者 「堀田正睦」 「西村茂樹」 「西村勝三」	中学校 1～3年	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」掲載の資料を活用し、郷土の先人の生き方から学ぶ。 堀田正睦 …主題名「郷土を愛し、郷土のために尽くす」 西村茂樹…主題名「国を愛する心」 西村勝三…主題名「失敗をのりこえて」	道徳副読本 「佐倉の道徳」
総合的な学習の時間	佐倉の自然と環境	小学校 3・4年	・学校の周りを中心に佐倉の自然に触れ、木々の緑に囲まれた公園や里山に広がる田園地帯を活用して活動する。	印旛沼 地域の里山 公園等
		小学校 5・6年	・佐倉の環境について調べ、佐倉の自然や環境について考える。	ふるさと歴史読本「佐倉の自然」 印旛沼 里山・公園等
	郷土の先覚者 「佐藤尚中」 「佐藤進」 「松本順」	小学校 5年	・「佐藤泰然」の学習の発展として取り扱う。 ・明治期の近代日本の医学の発展に力を尽くした人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「佐藤尚中」 「佐藤進」 「松本順」
			・佐倉順天堂記念館見学	佐倉順天堂 記念館
	佐産・佐消		・食から佐倉について調べる。 ・米作りを通して、佐倉の食について理解を深める。 ・大和芋の栽培を体験する。	副読本「ふるさと 佐倉の歴史」 農業体験活動
	ふるさとの歴史	小学校 6年	・歴史や史跡、人物などから佐倉について調べる。 ・調べたことを資料にまとめ、発表会を開く。	副読本「ふるさと 佐倉の歴史」
			・堀田正睦の「頌徳碑」の見学 ・武家屋敷の見学	甚大寺 武家屋敷
	佐倉の自然と環境	中学校 1～3年	・佐倉の環境について調べ、佐倉の自然や環境について考える。	ふるさと歴史読本「佐倉の自然」 印旛沼・里山等
	郷土の先覚者 「堀田正倫」	中学校 1年	・幕末の佐倉藩を守り、明治期の佐倉藩の産業振興に力を尽くした人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「堀田正倫」
			・国指定重要文化財・旧堀田邸の見学 ・佐倉高等学校地域交流施設の見学	旧堀田邸 佐倉高等学校
郷土の先覚者 「佐藤志津」		・日本の近代における女子教育の先駆者として力を尽くした人物の働きや苦労を考える。	郷土の先覚者 シリーズ 「佐藤志津」	
郷土の先覚者 「堀田正睦」	中学校 2年	・日本を開国に導くために力を尽くした人物の働きや苦労を具体的に調べる。 ・佐倉藩の藩政改革に触れ、新しい学問等を取り入れようとした佐倉藩の「好学進取」の気風にも触れる。	郷土の先覚者 シリーズ 「堀田正睦」	
ふるさとの歴史	中学校 1～2年	・歴史や史跡、人物などから佐倉について調べる。 ・詳しく調べたい生徒は、「ふるさと歴史読本」を活用する。	ふるさと歴史読本 シリーズ 副読本「ふるさと 佐倉の歴史」	
		・佐倉市民体育館前の「西村勝三」像の見学	「西村勝三」像	

教科・領域	学習項目・単元	対象学年	学習(活動)内容	資料等
総合的な学習の時間	郷土の先覚者 「西村茂樹」	中学校 3年	・日本人の生き方を示した明治の思想家として、日本の道徳教育の充実のために尽力した人物の働きや苦勞を具体的に調べる。	郷土の先覚者シリーズ 「西村茂樹」
	郷土の先覚者 「浅井 忠」		・日本洋画界の先駆者として、日本の芸術振興に寄与した人物の働きや苦勞を具体的に調べる。	郷土の先覚者シリーズ 「浅井 忠」
読書の時間	「堀田正睦」 「堀田正倫」 「津田梅子」	小学校 1～3年	・読書の時間等に佐倉市郷土の先覚者小学校低学年用の資料を使用して、先覚者に親しみを持たせる。	小学校低学年用 「堀田正睦」 「堀田正倫」 「津田梅子」

Ⅲ－８ コミュニティ事業

○運営方針

「コミュニティ事業」は、自らの居住地での人間関係を見直し、地域で共に生活し、見守り、支え合い、日常生活で声を掛け合いながら、地域づくり（防災・防犯、少子高齢化、まちの活性化等のまちづくり）に参加いただける人材の育成を目指しています。人と人のつながりを大切にして地域に根ざした活動をしたい、もしくはそうありたいと考えている市民の学習の場です。

市民協働の取り組みの一つとして、学習者一人ひとりの持つ、技術・知識・能力を高め、次世代に継承していただくだけでなく、地域リーダーとして多種多様な取り組みを、佐倉の様々な地域において実践いただくことにより、社会の人と人との絆を深め、お互いを支え合う地域社会の形成を目指します。

○令和4年度 コミュニティカレッジさくら

日 時	担当	内 容
5月～2月 18回	臼井 公民館	地域活動を行うために必要な折衝能力を培うとともに、地域課題の発掘方法や課題解決に向けた実践活動について学ぶ。また地域の各種資源（人材等）を生かした、様々な地域活動例、具体的な実践手法等、共に生き、支え合う地域づくりについても学ぶ。

IV 学校紹介

IV-1 幼稚園（3園）

佐倉市立佐倉幼稚園



【伊豆永 千代 園長からの一言】

大正2年に創立した本園は、地域の方に支えていただき、今年で109年目を迎えます。

園庭のシンボルツリー“とちの木”は園児たちを温かく見守り、心地よい空間を作ってくれます。登降園時に保護者の方と対面し連携を図りながら、一人一人を大切に、きめ細かな保育を行うことが本園の特色です。教育目標の実現へ向け、全職員で取り組んでまいります。

【今年度の教育目標】

『よく遊び、よく学び、やさしい心とはじける笑顔』

○感じる子ども ○よく遊ぶ子ども

○考える子ども ○やさしい子ども

環境に主体的にかかわりじっくり遊ぶ中で、感じたり考えたりして学んでいく過程を大切にします。

佐倉市立和田幼稚園



令和4年度は休園しております。

佐倉市立弥富幼稚園



【水嶋 智巳 園長からの一言】

本園は昭和49年の創立で、今年度で49周年を迎えます。園庭には四季折々の花が咲く自然豊かな環境で、敷地内の弥富小学校との交流活動が盛んです。

園児数4名の小規模園ですが、家庭や地域の皆様との連携を図りながら少人数を生かしたきめ細かな保育を行い、一人一人を大切に育んでいきたいと思ひます。

【今年度の教育目標】

『未来に向かって、かがやく笑顔』 めざす園児像～やとみっこの3つの愛～

◎関わり合い(愛)で
はじける笑顔

◎思い合い(愛)で
やさしい笑顔

◎学び合い(愛)で
わくわく笑顔

IV-2 小学校（23校）

佐倉市立佐倉小学校



【相蘇 重晴 校長からの一言】

本校は、明治5年に創立し、今年150周年を迎えます。歴史と伝統、そして保護者や地域の皆様からの支えと絆を大切に「まごころ教育」の推進に教職員一同、力を尽くしてまいります。また、「まごころ」を校是として、「自分だけでなく、周りの人も同じように大切な存在である」と考え、行動できる子供の育成を目指します。教職員一人一人が笑顔と丁寧さを忘れず、子供たちが「明日も行きたい」と思える学校づくりに取り組みます。

【今年度の教育目標】

『自ら学び、豊かな感性と情緒を備え、たくましく生きる子供』の育成

【めざす児童像】

「かしこく《知育》」学び方を知り、進んで学習します。「心やさしく《徳育》」人を大切にし、友達と仲良く助け合います。「たくましく《体育》」自分の体のことをよく知り、心と体をきたえます。

【重点】

新型コロナウイルス対策とICTの活用に努め、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を進めていきます。

佐倉市立内郷小学校



【山本 健太 校長からの一言】

創立110年をこえる伝統と地域の方々に支えられた温かな校風を背景に子供たちが伸び伸びと活動しています。

家庭や地域との深い絆を大切に、教育活動を推進してまいります。「あ(挨拶・遊び)た(体験・食べる)ま(学ぶ)をよくする内郷小」を合い言葉に、地域(社会)に貢献する児童の育成を目指します。また、個々の違いを認め合いながら、お互いを尊重し、自信を持って行動できる児童を育てていきます。

【今年度の教育目標】『新たな知を共創し 心豊かに たくましく生きる児童の育成』

(児童像) ○ともに学び合う子(知) ○思いやりのある子(徳) ○健康で、たくましい子(体)

(学校像) ○気持ちを込めた挨拶が聞こえる学校

○安心・安全な環境の中で子供が元気に遊ぶ学校

○体験をとおして自他を成長させる学校

○食を大切にして、健康な心身を育む学校

○保護者、地域から信頼され、地域に学ぶ学校

佐倉市立臼井小学校



【佐藤 和浩 校長からの一言】

印旛沼の湖畔にあり豊かな自然と歴史に恵まれた本校は、創立150年を迎えました。学校と家庭が連携し、地域の皆様方からご支援をいただきながら、子ども達にとって安全で安心な学校、学ぶ楽しさが実感できる魅力的な学校づくりを推進していきます。そして、臼井っ子一人一人が、目指す児童像「かしこく、やさしく、たくましく」を強く意識しながら、よりよい姿を目指して諸活動に取り組めるよう教職員が一丸となって取り組んでまいります。

【今年度の教育目標】

○教育理念:「人間尊重の精神に徹すると共に、郷土の歴史と文化を尊重し、社会の変化に主体的に対応し進んで学ぶ(好学進取)ことができる心身共に健康で、心豊かでたくましい子どもの育成を目指す。

○学校教育目標:『自ら学び、心豊かでたくましい子どもの育成』

○目指す児童像:「かしこく、やさしく、たくましく」～「勉強する子」・「やさしい子」・「元気な子」～

佐倉市立印南小学校



【佐藤 和隆 校長からの一言】

本校は創立157年目を迎えました。自然豊かで素敵な環境に恵まれています。明るく元気な子どもたちは、優しく見守っていただける保護者や地域の方々に支えられています。

①子どもたちが夢を持ち明日も行きたいと思える学校 ②一人一人の職員が持てる力を発揮し、喜びを分かち合える学校 ③保護者や地域と信頼し合える安心・安全な学校を目指し、全職員で取り組んでいきます。

【今年度の教育目標】

豊かな心を持ち、自ら考え行動する、たくましい児童の育成
(目指す児童像)

- ・考える子 …自らの力で問題を解決しようとする子
- ・思いやりのある子 …人の気持ちを考え、やさしさを行動で表そうとする子
- ・たくましい子 …すすんで体を動かし、体力の保持・増進に努める子

佐倉市立千代田小学校



【高井 亮一 校長からの一言】

本校は明治6年の開校以来、地域に愛され、地域とともに歩んできた歴史ある学校です。本校の伝統である「あいさつ」「歌声」「花」がいっぱいの学校づくりを基本とし、子どもも保護者も地域の方もそして教職員も「笑顔」あふれる学校をめざし、教職員が一丸となって取り組みます。

また、佐倉オランダ児童交流事業等を通して、国際理解教育にも力を入れています。

【今年度の教育目標】

『気づき 考え 行動する 千代田っ子の育成』

【めざす児童像】

- 「かしこい子」 課題に気づき、進んで考え判断し、表現する子
- 「やさしい子」 周りの状況に気づき、相手の立場になって考え、助けられる子
- 「たくましい子」 健康や安全、体力向上について気を配り、考え、行動できる子

佐倉市立上志津小学校



【大橋 昭彦 校長からの一言】

昭和36年に創立記念樹として植えられたシンボルツリー「コウヤマキ」。今では、校舎を超えるほどの高さに成長しました。今年度も職員一同、『未来に生きる子どもたちのためにできることは何でもやろう』という強い思いをもち、教育の可能性に挑戦していきます。児童が夢をもち、広い世界に目を向け、自己実現を図ることができるよう学校、家庭、地域で思いを一つにし、教育活動をすすめていきます。

【今年度の教育目標】

「豊かな心を持ち、自ら学ぶ意欲ある児童をめざす」を教育目標とし、4つの児童像【かしこい子、がんばる子、やさしい子、けじめのある子】と7つの重点項目【①児童一人一人の学力育成と指導技能の向上②心を育む環境づくりと指導の充実③人権教育の推進と充実④積極的な生徒指導の推進⑤将来に根付く健康、安全づくりの推進⑥家庭・地域社会と連携し、信頼される学校づくり⑦夢と希望を育む教育の推進】を掲げ、磨き合いの場を大切にしながら、個性が輝く児童の育成と将来に繋がる学力育成に努めて参ります。

佐倉市立志津小学校



【辻 太一郎 校長からの一言】

今年で創立149年目を迎える歴史と伝統のある学校です。子どもたちは、明るく素直で元気いっぱいです。見守り活動、学習支援活動を始め、保護者や地域の皆様に支えられている学校です。一世紀以上引き継がれてきた伝統を大切にするとともに、変化する時代に向けてチャレンジする精神をもち、笑顔で「今」に感謝できる子どもたちの育成、そしてその子どもたちの成長を実感できる学校の実現を目指します。

【今年度の教育目標】『自ら学び 豊かに関わり合い たくましく生きる児童の育成』

【目指す児童像】しづっこ(志津っ子) <合い言葉> -かしこく やさしく たくましく-

『し』しっかり考え学習する子 『づ』つながりを大事にする子

『つ』つよい体をつくる子 『こ』こころ配りのできるやさしい子

【目指す学校像】-夢・挑戦・感動のある学校、信頼される学校-

- ・子どもや職員にとって、魅力的で活力のある学校
- ・明るいあいさつと笑顔・歌声があふれる学校
- ・学ぶ環境が整えられ、安心安全できれいな学校
- ・保護者や地域に信頼され、共に歩む学校

佐倉市立下志津小学校



【高木 秀樹 校長からの一言】

創立56年目を迎えた下志津小学校です。創立50周年記念事業で児童と教職員でつくった記念歌『未来へのバトン』は、学校の誇りです。下志津小学校の子どもたちは、明るく、素直な子どもたちです。これもスクールガードの皆様をはじめ、地域の方々に支えられてのことです。学校・家庭・地域が目指す子ども像を共有し、目標をもち、あきらめずに学び自己実現できる子どもをめざし、教職員一丸となって取り組んでまいります。

【教育目標】 『よく学び 心豊かで たくましい子どもの育成』

【めざす子ども像】

- 目標をもち、あきらめずにやり抜く子ども(知)
- 感謝の気持ちをもって生活できる子ども(徳)
- 心と体が健康でたくましい子ども(体)

【めざす学校像】

- 児童が通うのが楽しい学校……居場所づくり
- 保護者・地域とともにつくる学校……地域学校協働活動
- 職員にとって働きがいのある学校……同じベクトル 協働の精神

佐倉市立南志津小学校



【大三川 弘 校長から一言】

緑豊かで広い校庭に小鳥の囀りが聞こえる、自然あふれる学校です。今年で開校49年目を迎えます。「かしこく、やさしく、たくましく」をスローガンとして、「生きる力」を育む教育を推進します。学校運営委員会をはじめとし、学校・家庭・地域が一体となった教育活動の充実に努め、子どもたちが生き生きと活動し、毎日学校に登校するのが楽しみで笑顔あふれる学校を職員一丸となってめざします。

【今年度の教育目標】

『自ら学び、心豊かでたくましい南っ子の育成』 ~かしこく、やさしく、たくましく！~

み
な
み
し
づ

○目指す児童像

- ・④ん⑤となかよく 助け合う子(優気)
- ・④ずからがんばる たくましい子(元気)
- ・④わり考え 勉強する子(根気)

○目指す学校像

- ・いじめのない、笑顔あふれるあいさつと歌声がひびく明るい学校
- ・子どもにとって安全安心できれいな学校
- ・子どもや保護者、地域から信頼される学校

佐倉市立根郷小学校



【富岡 健治 校長からの一言】

本校は、明治5年に創立し、令和4年に創立150周年を迎えます。永い歴史と伝統があり、温かい地域に支えられた学校です。社会や人のために尽くす「成徳の心」と、未知なるものに進んで挑戦する「進取の心」を育む教育を推進しています。子供宣言や立腰の姿勢、音楽発表会、防災集会、地域連携安全教室、ボランティアや地域団体の方々との交流等、特色ある取組により、子供たちの活気があふれています。

これからも家庭、地域との絆を深め、子供たちの「笑顔の登校、満足の下校」をめざして、教職員一同誠心誠意努めてまいります。

【今年度の教育目標】

『成徳・進取の心を育て、一人一人の豊かな個性を伸ばす教育』

- めざす児童像
- (徳育) 思いやりの心を持ち、みんなのために働くことに喜びを感じる子供
 - (知育) 新しい学びに挑戦し、学びを生活に活かせる子供
 - (体育) 運動することを好み、健康な体や生活に関心をもてる子供

【校訓 進取の心】 何事も恐れず、積極的に挑戦する心 いじめを許さず、勇気をもって行動する心
思いやりの心を持ち、お互い様の精神で助け合う心

佐倉市立和田小学校



【杉尾 英樹 校長からの一言】

児童数40名の学校ですが、豊かな自然に囲まれ、素晴らしい環境の中、様々な体験学習を実施しています。小規模校の良さを生かしたきめ細やかな教育活動を展開し、児童一人ひとりの自尊心・自己肯定感を高めています。研究のテーマを「地域社会との協働による学校運営」とし、家庭や地域・公民館などの関係機関との連携を深め、地域の特色を生かした体験活動を重視した学習に努めます。小規模特認校3年目となりました。ぜひ一度見学に来ていただきたいと思います。

【今年度の教育目標】

まなびあい みんななかよく たくましく

<めざす児童像>

【和】 わかるまで根気よく学ぶ子 【田っ】 たくましく体をきたえる子 【子】 心やさしい思いやりのある子

<めざす学校像> 「希望の登校 充実の下校」

- ①子どもの「生きる力」を育てる学校
- ②明るいあいさつと笑顔があふれる学校
- ③学ぶ環境が整えられたうるおいのある学校
- ④家庭・地域とともに歩む学校

佐倉市立弥富小学校



【水嶋 智巳 校長からの一言】

本校は、平成20年度に市内のどこからでも転入学が可能となる小規模特認校に指定され、今年度は19名の制度利用者児童を受け入れています。全校児童55名という少人数の利点を生かし、一人一人にきめ細かな指導を行っています。

本校の良さを生かし、『いじめのない学校づくり』『学力向上』『地域学習の取組』『併設する弥富幼稚園との交流』に力を入れています。

【今年度の教育目標】

「ふるさと弥富に誇りを持ち、夢に向かって学び合い、思い合い、高め合い、社会に尽くすことのできる児童の育成」

◎めざす児童像=弥富っ子の3つの合い(愛)

- ・学び合い…よく考え、友だちと学び合える子
- ・思い合い…相手を思いやるやさしい子
- ・高め合い…健康でたくましい子

◎めざす学校像

- ・児童一人ひとりを大切にする学校
- ・「明日も元気に登校したい」と思える学校
- ・保護者・地域から信頼される学校

佐倉市立井野小学校



【宮本 正教 校長からの一言】

井野小学校は、国指定の「井野長割遺跡」の上に建ち、自然と歴史に囲まれた素敵な環境にあります。昨年度、創立50周年の節目を迎え、今年度から新たな一步を踏み出しました。「井野っ子粋な仕草」を大切に、明るい挨拶があふれるよう子供たちと共に頑張ります。

井野っ子の健やかな成長のため、保護者、地域の皆様とともに、教職員のチームワークを大切に、信頼される学校を目指していきます。

【今年度の教育目標】

『心明るく、元気よく、力を合わせて学びゆく子をめざす』～一人一人が輝く学校～
～めざす児童像～

- 「力を合わせて学びゆく子」…級友とともに進んで学習に取り組み、学ぶことを楽しむ子
- 「心明るい子」…思いやりと優しさをもって友達と豊かな人間関係を築ける子
- 「元気な子」…運動に親しみ、自身の健康を意識できる子

佐倉市立佐倉東小学校



【成田 公敏 校長からの一言】

「なかよし」をスローガンに、縦割り班による活動等を通し、自他を大切に作る心と温かい人間関係づくりを進めています。ガードパトロールや保護者・地域の皆さんによる見守り活動は本校の宝です。「知らなかったことがわかる、できないことができる」「体を動かし、汗を流すこと」「人との関わり」「自分で考え、表現すること」、そんな「学校の楽しさ」を目標に、職員一同子どもたちのために尽力してまいります。

【今年度の教育目標】

以下の児童像をめざし、昨年度からの課題を努力点とし、教育活動を進めます。

- ひとにやさしい子**〔徳育〕: 人権教育の充実、主体性の育成、歌声・挨拶・清掃・姿勢・文字の向上 等
- がんばれるたくましい子**〔体育〕: 主体的に安全に向き合う児童の育成、部活動の充実 等
- しんげんに学びに向かう子**〔知育〕: 読む力・書く力・計算力の定着、読書活動の促進 等

佐倉市立西志津小学校



【真下 誠 校長からの一言】

本校の伝統は、『ひびけ歌声』『読書大好き』『団結パワー』です。子ども自身が大切にされていると実感できる学校づくりを目指します。日々の教育活動は、保護者・地域の方々の温かいご支援のもと行われています。多くの方々への感謝の気持ちを胸に、安心・安全を基盤とし、一人一人のよさを伸ばし、西志津小で学べてよかったと思える学校運営をします。

【今年度の教育目標】

『思いやりのところをもち、互いに学びあう、たくましい児童の育成』

教育目標達成のため、本年度の教育重点目標を次のようにし、全職員で共有しました。①子どもがいつも大事にされていると思える学校づくりをしよう。②楽しく学べて自分を高めることができる学校づくりをしよう。③心と体を健康にできる学校づくりをしよう。以上この3点達成のため、職員一同精進してまいります。

佐倉市立小竹小学校



【中村 千草 校長からの一言】

モノレールや高層マンションなどの現代的な街並みと、緑豊かな自然が調和した教育環境に恵まれた学区です。地域の方の熱心な見守りのおかげで、子供たちは「安全安心」に登下校ができています。学校教育重点目標に「かしこく、やさしく、たくましく」を掲げ、その実現のために学校・家庭・地域が連携して子供たちの教育にあたっていきます。

【今年度の教育目標】

「豊かな人間性を持ち、たくましく生きる児童」の育成

—(知)かしこく (徳)やさしく (体)たくましく—

- ・かしこく(知) よく聞き、よく考え、自分の言葉で発信する子
- ・やさしく(徳) 思いやり、助け合い、友達と高め合う子
- ・たくましく(体) 挨拶・返事がしっかりでき、粘り強く前向きに取り組む心身共にたくましい子

佐倉市立間野台小学校



【佐藤 克巳 校長からの一言】

間野台公園に併設する本校は創立42年目を迎えました。元気いっぱい、あいさつができ、優しい児童が、熱意あふれる教職員の褒める・認める指導のもと、より多くの「できる」を増やし、成長を目指します。ボランティア、保護者・地域の皆様の声に耳を傾け、力を合わせながら、安心・安全な学校づくりを推進します。

【今年度の教育目標】

「心豊かで進んで学ぶ、心身ともにたくましく生きる子どもの育成」

子どもの人間性を尊重した教育を推進し、子どもの“よさ”や“可能性”を引き出し、意欲をもって自己実現をめざして学ぶ、心豊かで、たくましく生きる児童の育成に努めます。

【めざす児童像】

- より優しく・・・感謝・怒・助け合いの思いに満ちた児童
- より賢く・・・対話的に学び、深く考えることのできる児童
- より逞しく・・・活力・体力・根気にあふれる児童

佐倉市立王子台小学校



【村上 武宏 校長からの一言】

住宅地にありながらも、近くには豊かな自然が残されており、教育環境に恵まれた本校は、今年開校から39年目を迎えました。元気なあいさつと心に響く歌声、子どもたちの笑顔がいっぱいの学校で、明るく人懐っこい児童がのびのびと学習しています。今年度も、児童、保護者、地域の「希望の学校」となることを目指して、教育活動をすすめてまいります。

【今年度の教育目標】『思いやりの心を持ち、自ら考え行動する、たくましい児童の育成』

- (めざす児童像) ○思いやる子(徳) お互いのよさを認め、ともに助け合う子
 ○自ら考え行動する子(知) 表現力を豊かにし、進んで学習する子
 ○たくましい子(体) 自分の健康に気をつけ、最後までやりぬく子

- (めざす学校像) ・あいさつ、歌声が響き、いじめを許さない明るく楽しい学校
 ・児童一人一人が「希望の登校、満足の下校」を実現する学校
 ・保護者、地域から信頼される学校

佐倉市立青菅小学校



【竹内 重幸 校長からの一言】

豊かな自然と歴史に、新しい住宅地が融合した活力ある地域です。楽しみながらたくさん学び、たくさん遊んでかしこい子になってほしいと願っています。明るく落ち着いた人間関係づくりと確かな学力の向上をめざして、教職員一同、心を一つにして進んでまいります。家庭や地域の皆様とともに歩み、登下校の際には見守り活動への協力もいただきながら、安全で安心な学校をつくっていきます。

【今年度の教育目標】

『かしこい子の育成』 ～ やさしい子・勉強する子・元気な子 ～

やさしい子 … 豊かな心の育成

勉強する子 … 自立した学習者の育成

元気な子 … 心身の健康・安全、粘り強さの育成

○ あおすげ合い言葉

あ … 明るい挨拶 お … 思いやりの心 す … 進んで学ぶ げ … 元気に運動

佐倉市立寺崎小学校



【堀江 義昭 校長からの一言】

電車から見るとんがり屋根の学校、寺崎小学校は子どもたちの笑顔や活気に溢れた学校です。地域の方の水田をお借りしての米作りなど、これまで積み上げた実践を大切にしながら、「みんな なかよし」を合い言葉に今年度も『いじめゼロ』を目指して、心豊かでたくましい児童の育成に取り組みます。保護者・地域の皆さんと連携・協力し、安心・安全を第一に「子どもたちのために」を意識しながら、チーム寺崎小として職員一同力を合わせ、全力で教育活動を推進して参ります。

【今年度の教育目標】

『知・徳・体の調和のとれた心豊かなたくましい児童の育成』

～かしこく やさしく たくましく～ (みんな なかよし)

<めざす児童像>

・かしこい子……最後まであきらめずに、学び続けることができる子

・やさしい子……感謝の気持ちを持ち、仲良く助け合う子

・たくましい子 … 自分や友だちの命を大切に、健康な体づくりができる子

<三つのやくそく>

・ていねいなことばづかい

・すすんであいさつ

・なかよくせいかつ

佐倉市立山王小学校



【宇梶 ユミ 校長からの一言】

本校は平成元年に根郷小学校より分離独立して創設34年目になります。令和4年度は新1年生20名、全139名で始まりしました。明るくゆとりある空間をもつ恵まれた教育環境のもとで子どもたちはのびのびと学習活動に励んでいます。「みんなで作ろう みんなの山王小学校」を合い言葉に、みんなが大好きな学校生活を子どもたちと共に作り上げていきます。

【今年度の教育目標】

『よく学び 心豊かで たくましい児童の育成～自己解決力のある児童の育成～』

【めざす児童の姿】

○自分の思いや考えを伝え合える子

○考え、行動しようとする子

○支え合って伸びようとする子

【めざす教師像】

○教育者としての自覚と誇りを持ち

「俯瞰する能力」を有した

「人情味のある教師」

佐倉市立染井野小学校



【池田 真一 校長からの一言】

本校は、平成11年に千代田小学校より分離開校して創設24年目になります。令和4年度も保護者の皆様や地域の方々との連携を密にして教育活動を進めていきたいと思ひます。

さらに、今年度は勉強や運動のみならず、様々な活動に取り組む際に、児童が「やる気」をもち、「本気」で取り組み、「笑顔」であふれる学校生活を送れるように、教職員一丸となって指導・支援してまいります。

【今年度の教育目標】『夢をもち、進んで学ぶ、心豊かでたくましい児童の育成』

めざす児童像「笑顔がいっぱい・やる気がいっぱい・まじめがいっぱい」

重点目標①わかる授業の実践に努め、学力の向上を図る

②生徒指導・特別支援教育の充実を図る

③よりよい生き方をめざす子どもを育てる道徳教育の充実を図る

明るいあいさつができ、やる気にあふれ、物事に本気で取り組み、友だちと仲良く笑顔で生活する児童の育成をめざします。

佐倉市立白銀小学校



【三星 典子 校長からの一言】

白銀小学校は、平成16年に開校しました。地域コミュニティスクールとして、地域住民によって組織される学校運営委員会と連携し、しろがね文化祭やサタデースクール等の学習活動や、環境整備や登下校の見守り活動等を行っています。校内研修では、「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた授業作りに取り組み、子どもたちの学力向上に努めています。

【今年度の教育目標】

○自ら学び、人間性豊かで、たくましく生きる子どもの育成

～かしこい子の育成～ ○考える子 ○やさしい子 ○元気な子

白銀小では「考える子」「やさしい子」「元気な子」の3つをバランスよく身につけた子どもを「かしこい子」として考えています。人生100年時代をたくましく生き抜き、学んだことを社会に生かせるように、「基礎的・基本的な知識や技能」とともに「最後まで頑張る力」や「健康な心と体」といった知・徳・体を兼ね備えた「かしこい子」の育成をめざします。

IV-3 中学校 (11校)

佐倉市立佐倉中学校



【前原 美智雄 校長からの一言】

開校76年目を迎えた本校は正門前が佐倉城の大手門跡地であり、現在の校舎はそれを模したデザインです。校訓「好学進取」のもと、547名の生徒が「挨拶・歌声・清掃」の3本柱を合言葉に、明るく爽やかに学校生活を送っています。また、教職員は、生徒一人一人を尊重しながら、生徒のよりよい成長に向けて一丸となって指導にあたっています。今後も保護者、地域の方々、地域関係諸機関との連携を深め、安心・安全で信頼される学校づくりに努めて参ります。

【今年度の教育目標】

校訓「好学進取」のもと、心豊かで、進んで学び、行動するたくましい生徒の育成
(めざす生徒像)

- 自他ともに命を大切にし、他を思いやる心を持つ生徒
- 進んで学び、進路に向けて努力する生徒
- 奉仕の心をもって進んで働く生徒
- 礼儀正しく、きまりやマナーを守る生徒
- 健康・体力づくりに励む生徒

佐倉市立志津中学校



【猪熊 浩文 校長からの一言】

本校は、全校生徒数730名、26学級の大規模校です。歴史と伝統ある学校で、現在は感染症対策で中断していますが、例年、地域の皆様と一体となって生徒の育成に取り組んでいます。志津中五本柱(挨拶をする・清掃を一生懸命にする・人の話を聞く・時間を守る・歌声を盛んにする)を生活の基盤とし、学習面でも「自学」ができる生徒の育成に向け努力してまいります。

【今年度の教育目標】 「進んで学び、人間性豊かで、たくましく生き抜く生徒の育成」

- <進んで学ぶ生徒>
 - 授業に真剣に取り組み、自ら学ぶ生徒
 - 自分の進路に向けて努力し続ける生徒
- <人間性豊かな生徒>
 - 礼儀正しく、自他共に大切にす生徒
 - よく働き、人に尽くす生徒
- <たくましく生き抜く生徒>
 - 決まりやマナーを守り、目標を持って行動できる生徒
 - 健康・体力づくりに励む生徒

佐倉市立上志津中学校



【岩崎 徹 校長からの一言】

本校は開校50年の節目を迎えました。学区小学校と連携した「四つの約束」①さわやかな挨拶 ②時間を守る ③人の話をよく聴く ④進んで清掃をするを大切に、素直でひたむきに生活しています。教職員は常に生徒に寄り添い、努力を認め、励まし、夢や希望の実現に一枚岩となり汗を流しています。今後も保護者・地域の方の理解を得ながら、安全・安心で信頼される学校づくりを進めて参ります。

【今年度の教育目標】

『進んで学び、心豊しくたくましく、進んで考え行動する生徒の育成』

—四つの約束を大切にす、自己指導能力の涵養—

(目指す生徒像)

- 自ら学び、粘り強く考え、自分を高める生徒
- 互いの存在や違いを認め合い、相手を思いやり、協力し合える生徒
- 正しく判断し、行動できる生徒
- 礼儀正しく、健康な生活習慣が身についている生徒

佐倉市立南部中学校



【古林 聖哉 校長からの一言】

本校は、縄文時代からの歴史ある自然豊かな南部地区にあります。197名の生徒は、佐倉で脈々と伝わる『一芸一術』の考えを生かし、「佐倉に誇りと愛着を持つ人」「よく学び、自ら考え進んで行動する人」「豊かな心と創造力に富む人」の実現を目指して日々の教育活動に取り組んでいます。教職員は、令和の時代に生き生きと、力強く生き抜く力を身につけた生徒を育成するために一丸となって指導に当たっております。今後も保護者・地域の皆様のご理解とご協力を得ながら、伝統校としての発展を目指してまいります。

【今年度の教育目標】

Be ambitious (大志をいだけ)

『夢・希望に向かって、継続的に努力する生徒の育成』

～自他の個性を認め合い 生き生きとした学校生活を送ろう～

<めざす生徒像>

- 思いやりの心を持ち互いに助け合える生徒
- 基本的な生活習慣が身についた生徒
- 進んで学習に取り組む生徒
- 意欲的に体力の向上に取り組む生徒
- 進んで清掃に取り組む生徒

佐倉市立臼井中学校



【榎本 泰之 校長からの一言】

創立46年目、生徒364名、教職員31名の中規模校です。明るいあいさつと笑顔と拍手があふれる学校、いじめのない学校、思いやりに満ちた学校、うつくしい学校、食の重要性を認識し、健康・体力の保持増進に努める学校を目指しています。「ICT機器を積極的かつ効果的に活用した授業」「生徒の変化を瞬時に察知し、組織で判断し、即対応する生徒指導」「組織力をさらに高め、子どもたちのために全力で取り組める教師集団」を今年度の重点に置き、丁寧かつ即対応、物事を曖昧にしない取り組みを進めます。

【今年度の教育目標】

「明るく 直く たくましく」

この言葉は、本校初代校長が作詞した校歌の一節にあります。

「全ての活動に真摯に全力で取り組む」。これを全ての活動の指針とし、全ての活動の評価としています。全ての活動がそこに集約・収斂されるよう、平成26年度から継続しています。

日々進化するために、生徒も教職員も意識を高く持ち、生活体験を積み重ねていきます。

佐倉市立井野中学校



【林 一裕 校長からの一言】

学校は、生徒の長所や個性を伸ばすとともに、未来を力強く生きていくため、人としての在り方を学び、身につける場でもあります。本校では、家庭・地域の力に支えられながら、さまざまな教育活動を通して「自立・協働・貢献」の力の育成を目指します。個々の夢や希望の実現に向け、他者との関わりの中で粘り強く努力を重ねる中で、生徒が充実した中学校生活を送れるよう、「チーム井野中」を合言葉に全教職員で支援します。

【今年度の教育目標】

『自立・協働・貢献ができる生徒を育成する』

- (1) めざす生徒像 自他敬愛の心を持ち、共に努力向上しようとする生徒
- (2) めざす教師像 生徒の夢・志を育み、自己実現を支えられる教師
- (3) めざす学校像 地域の中に生きる学校

佐倉市立佐倉東中学校



【加藤 康男 校長からの一言】

佐倉東中学校は、今年度、創立36年目を迎えました。花と緑が学舎を包み、四季の彩りに「爽やかな挨拶」がこだまする落ち着いた環境にあります。

生徒会のいじめ撲滅さしみ宣言『させない、しない、みのがさない』の言葉通り、人を思いやる気持ちを大切にし、また、敷地内にある学校林を地域の方々と共に整備し、学校と保護者、地域が協力して、常に開かれた学校を目指してまいります。

【今年度の教育目標】

『心身ともに健全で、未来を築く たくましい力をもつ生徒の育成』

≪目指す生徒像≫

- | | | | |
|---|---------------|---|----------------|
| あ | あいさつができる生徒 | べ | 勉強を頑張る生徒 |
| そ | そうじができる生徒 | し | 進路を切り拓く努力をする生徒 |
| ぶ | 部活動や習い事を頑張る生徒 | | |

佐倉市立臼井西中学校



【堀 行伸 校長からの一言】

緑豊かな自然に囲まれた環境の中に学校が位置し、創立から35年目を迎えました。「挨拶」「掃除」「態度」を生徒会三本柱とし、明るく爽やかな生徒292名が意欲的に活動しています。これからの時代を切り拓いていく”生きる力”を育むべく、「自分で考え、自分で決められる生徒」の育成を目指し、熱い思いをもった教職員集団が一丸となって、教育活動を推進して参ります。

【今年度の教育目標】 『生きる力』を育む -自分で考え、自分で決められる生徒の育成-

<目指す生徒像>

- 自ら学ぶ生徒
- 周りと自分を大事にする生徒
- 健康管理に努め、体力向上を目指す生徒

<目指す学校像>

- 安心・安全な学校
- 学びが保障されている学校
- 家庭・地域とともに歩む、信頼される学校

佐倉市立西志津中学校



【山田 真史 校長からの一言】

「山吹の花 静かにゆれて」これは校歌の一節で、その図柄は校章に、色はスクールカラーとなっており、創立35年目を迎えます。本校の3本柱は、「挨拶・返事、合唱、清掃」です。

「未来に向けて目標を持ち安心して夢を語る学校」、「一人ひとりに居場所があり、自分の良さを発揮できる学校」、「たくましさで自己肯定感を持った生徒を育成できる学校」の実現に向け、地域・家庭と連携し、職員一同邁進してまいります。

【今年度の教育目標】

『未来を拓く 自己肯定感をもった生徒の育成』

～自立と共生を目指す 西志津の生徒～

【生徒目標】

- 1 自他を認め大切にできる、心身ともに健やかな生徒
- 2 自ら進んで、粘り強く学習活動に取り組む生徒
- 3 挨拶・返事を意識し、当たり前のことを進んで実践できる生徒

佐倉市立臼井南中学校



【野村 英二 校長からの一言】

本校は、生徒数326名、教職員28名、開校から28年目を迎える学校です。美しい街並みを飾る七井戸公園に隣接しており、敷地内には吉見台遺跡を有する、緑豊かな環境にあります。「汗をかく」を学校教育目標に、南中4つの柱「あいさつ、歌声、清掃、行事に燃える」を合い言葉に、生徒の自治的な活動を推進してまいります。生徒が夢や希望を抱き、笑顔のあふれる学校を目指します。

【今年度の教育目標】

- ◆学校教育目標 「汗をかく」
- ◆めざす生徒像
 - ・すすんで学ぶ生徒
 - ・仲間と協力し、助け合える生徒
 - ・うつくしい学校をつくる心やさしい生徒
 - ・夢や希望に向かって元気に生活する生徒
 - ・いつも気づき考えて行動する生徒

佐倉市立根郷中学校



【高瀬 裕 校長からの一言】

本校は創立26年目を迎えます。佐倉南図書館が隣接しており、近隣には佐倉南高校や千葉敬愛短期大学があり、文教地区の香り漂う地域です。自然環境や学習環境に恵まれている根郷中学校で保護者、地域と連携し、全職員が一丸となって教育目標の実現に向けて取り組んでまいります。また、生徒が希望を持って登校し、充実して下校できるような学校を目指します。そして、安心して学校生活を送れるよう、いじめの早期発見、早期解決に努めます。

【今年度の教育目標】

夢や希望を持って、これからの時代を生き抜く生徒の育成

【目指す学校像】

「希望の登校、充実の下校」～挨拶・返事・清掃～

- 教師像
 - ・生徒の長所を引き出す、教育的ニーズを把握して支援、わかりやすい授業
 - ・優しさと厳しさのある指導、教師集団の連携
- 生徒像
 - ・夢を抱き、全力で挑戦し、学ぶことの意味や楽しさを実感できる生徒
 - ・自他を尊重し、けじめがあり節度ある行動をとることのできる生徒